SONY

3-064-367-**04** (2)

接続と準備

ここだけ読んでも使えます

ビデオカセットレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

再生

録画・予約

ダビング・編集

その他

VHS Hi-Fi

SLV-R155

必ずお読みください

大切な録画の場合は

必ず事前にためし録りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません

本機やテープなどを使用中、万一これらの不具合により録画・録音されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

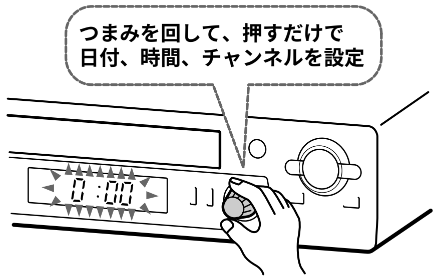
録画防止機能について

別売りのチューナーで番組をご視聴の場合、番組に録画防止機能（コピーガード）がついている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。

主な特長

本機は、テレビの電源を入れずに番組の予約ができるかんたん予約ダイヤル付きビデオです。本機ならではの便利な機能を楽しむことができます。

テレビの電源を入れずにかんたん予約ダイヤルで予約できる（☞52ページ）



さらにこんなことができます。

- **かんたん設定**でチャンネルと時計をまとめて設定（☞16ページ）
- **ピッタリ録画**でテープ残量を判断し、自動的に録画モードを3倍に切り換え（☞34ページ）
- CM**カット**で録画中にCMとばし（☞55ページ）
- **音声付早見再生**で音声を聞きながら1.5倍速再生（☞45ページ）
- メニューの**スタンバイ消費電力**で電源を切ったときの消費電力を削減（☞33ページ）
- **自動パワーオフ**で長時間ビデオを使わないと自動的に電源オフ（☞33ページ）
- 別売りのチューナーから録画（☞57ページ）
- **シンクロ録画**で番組予約機能がある機器（デジタルBSやCSチューナー、CATVチューナーなど）から予約録画（☞59ページ）

目次

接続と準備

ここだけ読んでも使えます

再生

録画・予約

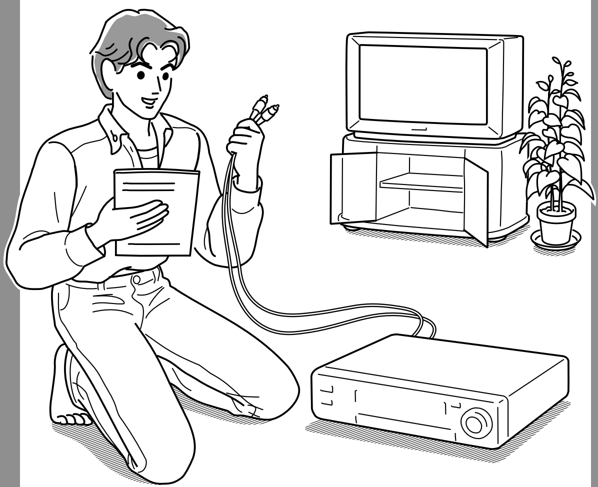
ダビング・編集

その他

この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。

接続と準備

ここでは、本機を使用するために最低限必要なアンテナやテレビなどの接続および、時計やチャンネル合わせなどの準備について説明します。
さらに、BS放送やケーブルテレビ、デジタルBSやCS放送などをお楽しみいただける別売りの機器とのつなぎかたも説明しています。
ビデオカメラ・ビデオデッキなどのビデオ機器の接続は☞61ページをご覧ください。



接続と準備の流れ

手順**1**〜**6**まで済ませれば、本機を使用できる状態になります。

手順1：付属品を確かめる ☞5ページ

手順2：リモコンを準備する ☞5ページ

手順3：アンテナとテレビにつなぐ ☞7ページ

手順4：電源コードをつなぐ ☞14ページ

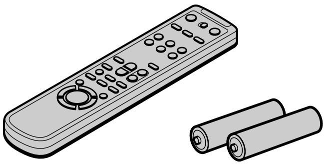
手順5：接続の確認をする ☞14ページ

手順6：かんたん設定をする ☞16ページ

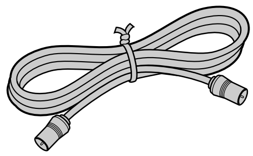
手順1:
付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

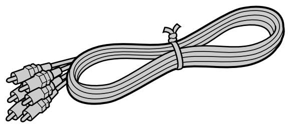
リモコン（1個）と
単3形（R6）乾電池（2個）



F型コネクター付き同軸ケーブル（1本）



映像・音声コード（1本）



取扱説明書
安全のために
ソニーご相談窓口のご案内
保証書 **（各1部）**

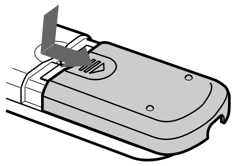
付属されているリモコンは、本機の専用リモコンです。従来のソニー製ビデオデッキに使用することはできません。
ただし、下記に記載する機種については、本機のリモコンで基本操作（再生、停止、一時停止、早送り、巻戻し）が可能です。

WV-BW3	WV-H6	SLV-FX11
WV-D700	SLV-BX9	SLV-R100
WV-D9000	SLV-BX11	SLV-R150
WV-D10000	SLV-FT5	SLV-R300
WV-DR5	SLV-FT10	SLV-R350
WV-DR7	SLV-FT11	SLV-R500
WV-DR9	SLV-FX9	SLV-R550

手順2:
リモコンを準備する

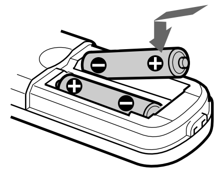
乾電池を入れ、ビデオ本体とリモコンのリモコンモードが合っていることを確認します。リモコンモードが合っていないと、リモコンで操作できません。

1 **裏面のフタを開ける。**



2 **単3形（R6）乾電池を2個入れる。**
必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。

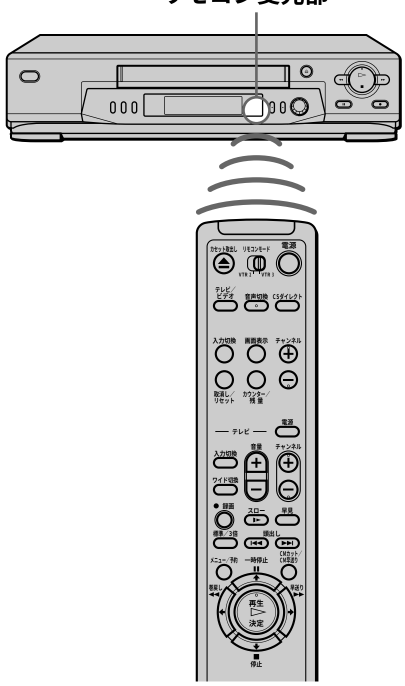
⊕と⊖の向きを正しく



リモコンの使いかた

リモコンを使うときは、リモコンをビデオ本体のリモコン受光部に向けて操作します。

リモコン受光部

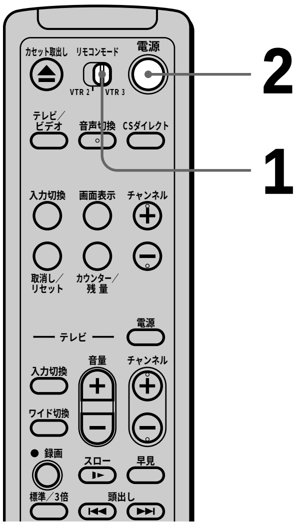


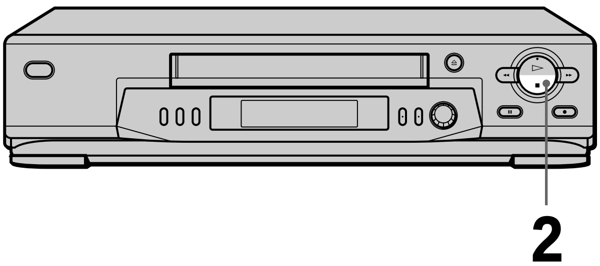
次のページにつづく

手順2：リモコンを準備する（つづき）

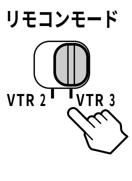
2台以上のソニーのビデオデッキを使う

操作したいビデオデッキだけが反応するように、ビデオデッキごとに別のリモコンモードを設定します。例えば、もう1台のビデオデッキが「VTR3」に設定されている場合は、本機を「VTR2」に設定します。
本機はお買い上げ時には、リモコン、ビデオ本体とも「VTR3」になっています。リモコンモードスイッチのないビデオの場合は、ベータは「VTR1」、8ミリは「VTR2」、VHSは「VTR3」、DVは「VTR2」または「VTR4」に設定されています。
リモコンモードの設定は、「手順**4**：電源コードをつなぐ」（☞14ページ）が終わってから行ってください。



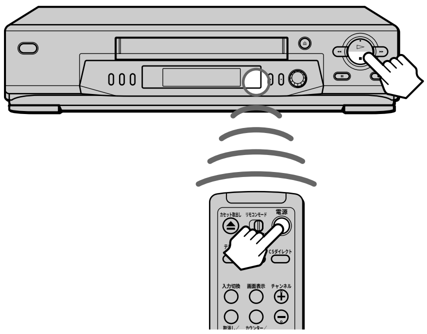


1 **リモコンモードスイッチでリモコンのリモコンモードを選ぶ。**



2 **電源が切れているときに、ビデオ本体の停止■ボタンを押したまま、リモコンの電源スイッチをビデオ本体のリモコン受光部に向けて押す。**

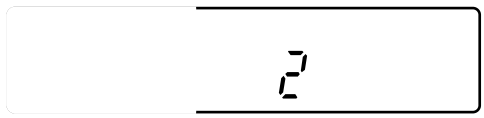
ビデオ本体とリモコンが同じリモコンモードに設定されます。



ビデオ本体のリモコンモードを確認するには

電源が切れているときに、ビデオ本体の停止■ボタンを押します。
ビデオ本体の表示窓に設定されているリモコンモードが出ます。

ビデオ本体の表示窓



ちょっと一言

- リモコン操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。
- リモコンの乾電池を交換したときは、テレビのメーカー番号（☞26ページ）を合わせ直してください。

ご注意

- メニューの「各種設定1」の「スタンバイ消費電力」が「低」になっているときは、ビデオ本体のリモコンモードは表示されません。「標準」にしてください（☞33ページ）。

⚠注意

新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください

乾電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

乾電池を長時間使用しないとき、使い切ったときは、リモコンから取り出しておいてください

乾電池を入れたままにしておくと、放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

手順3：アンテナとテレビにつなぐ

テレビにつながっているアンテナ線をはずして、本機につなぎます。
テレビに映像・音声入力端子があるときと、ないときで本機とテレビのつなぎかたが異なります。

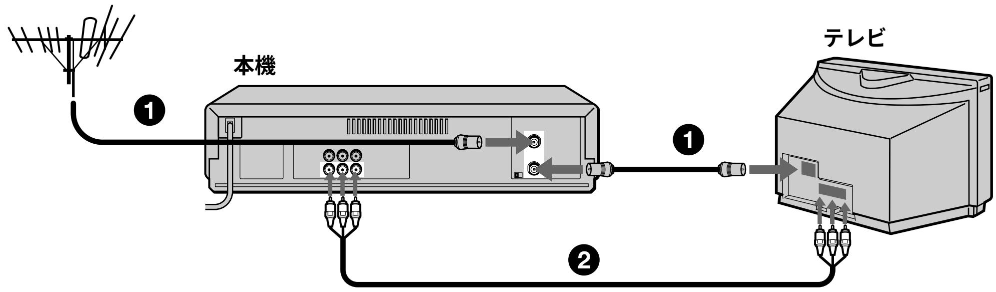
テレビだけを使っていたとき



本機とテレビを使うには

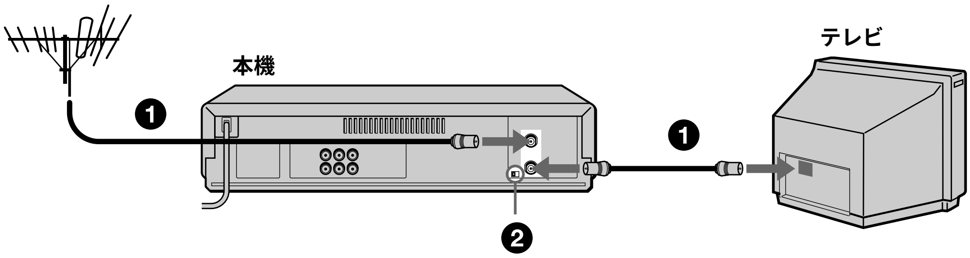
テレビに映像・音声入力端子があるとき

❶ **アンテナ線をつなぐ（☞8ページ）**
❷ **映像・音声コードをつなぐ（☞12ページ）**



テレビに映像・音声入力端子がないとき

❶ **アンテナ線をつなぐ（☞8ページ）**
❷ **チャンネル切換スイッチを合わせる（☞13ページ）**

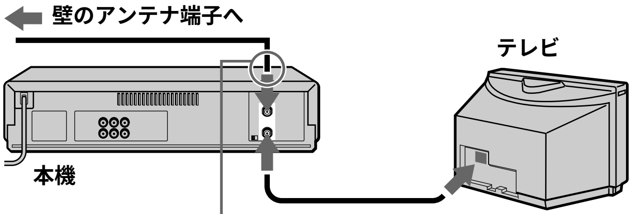


次のページにつづく

手順3：アンテナとテレビにつなぐ（つづき）

アンテナ線をつなぐ

テレビやお手持ちのビデオにアンテナ線がつながっている場合は、はずして本機につなぎ直します。



アンテナ線の形に合わせて、次のⒶ～Ⓕのつなぎかたを選んでください。

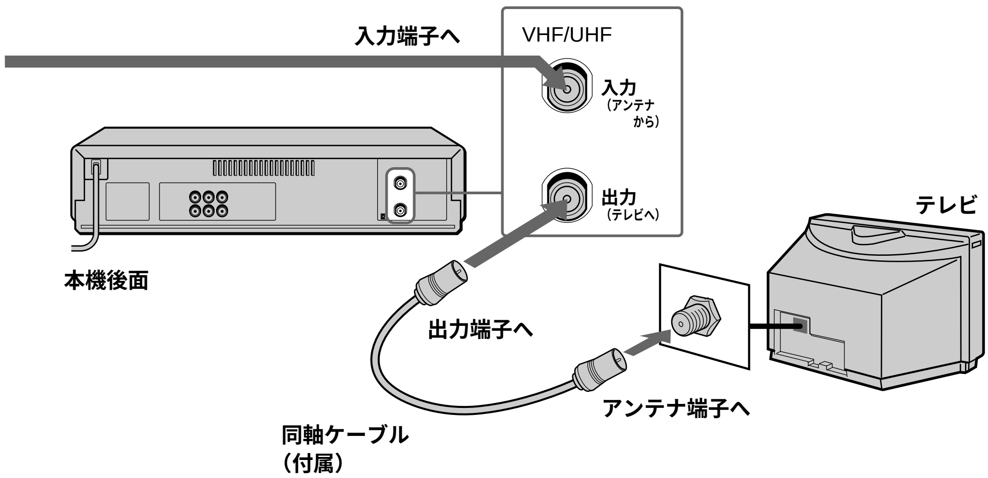
ちょっと一言

- 次のときは別売りのアンテナブースターを、本機とアンテナの間につないでください。
  – 電波が弱く画面にチラつき、斜めじまが入るとき
  – 2台以上のビデオにアンテナをつなぐとき

該当する接続がないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

Ⓐプラグ付き同軸ケーブルのとき

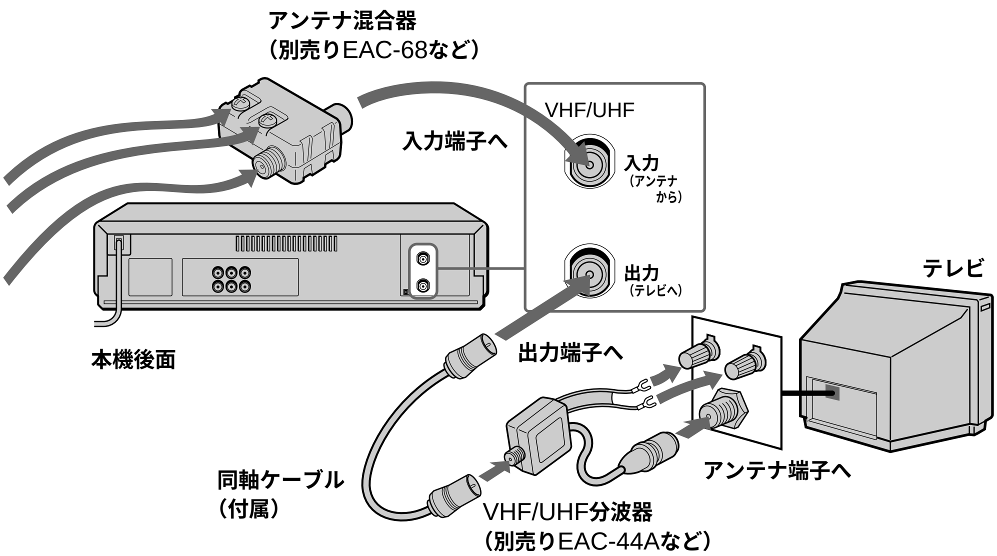
マンションなどの共同受信システムなどで、壁のアンテナ端子がVHF/UHF/BS混合のときはⒻ（☛11ページ）をご覧ください。



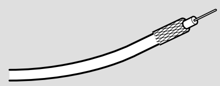
Ⓑフィーダー線＋プラグ付き同軸ケーブルのとき

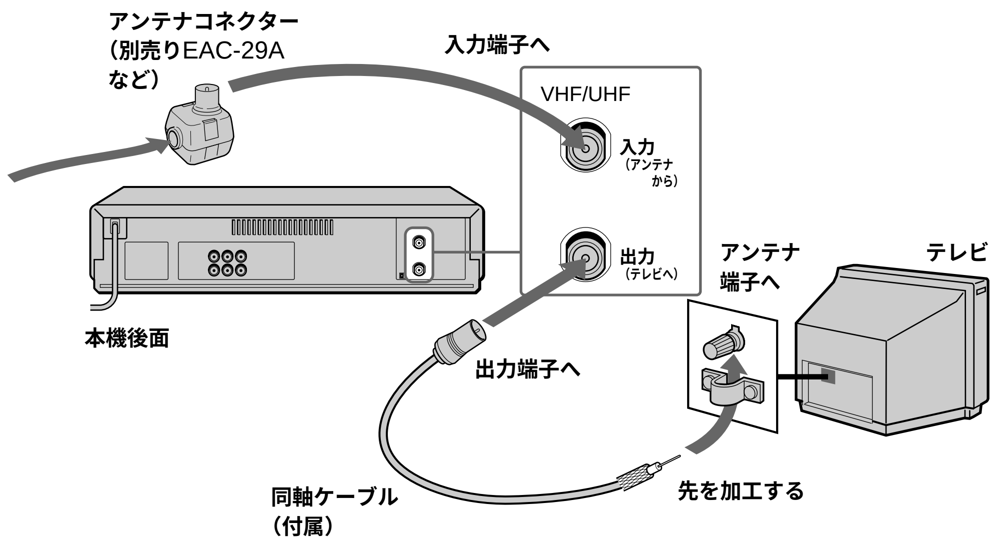
＋

- フィーダー線をつなぐ（☛10ページ）



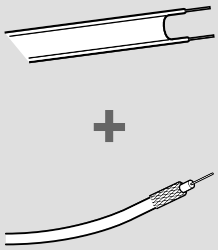
C プラグなし 同軸ケーブル のとき

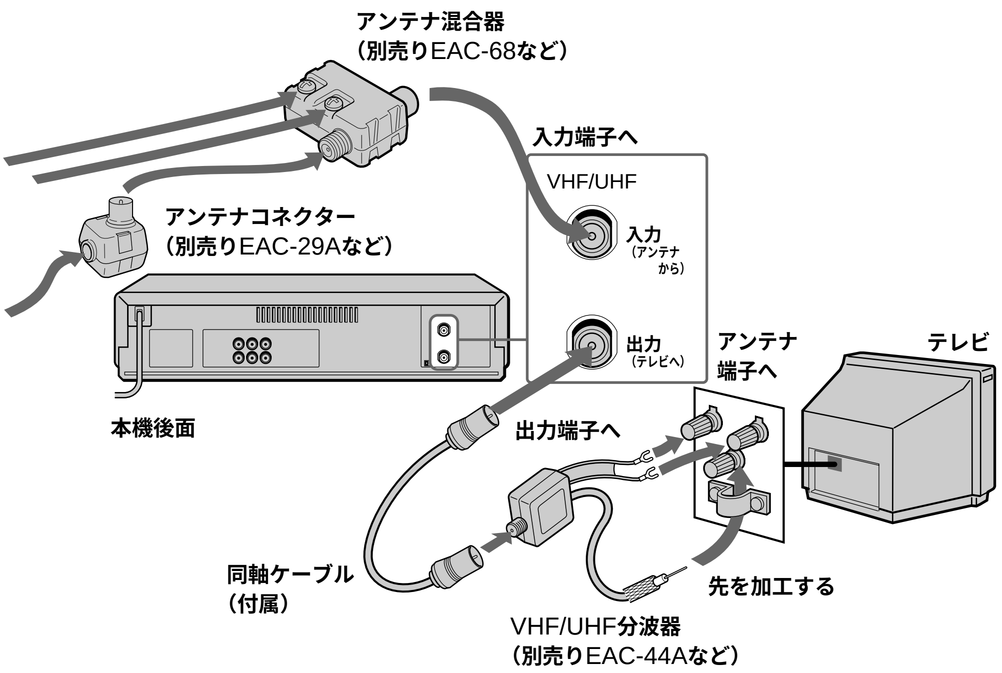




- 同軸ケーブルの先を加工する（☛10ページ）

D フィーダー線＋ プラグなし 同軸ケーブル のとき





- 同軸ケーブルの先を加工する（☛10ページ）
- フィーダー線をつなぐ（☛10ページ）

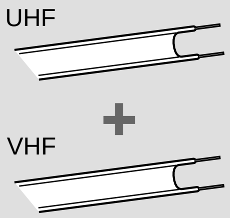
ご注意

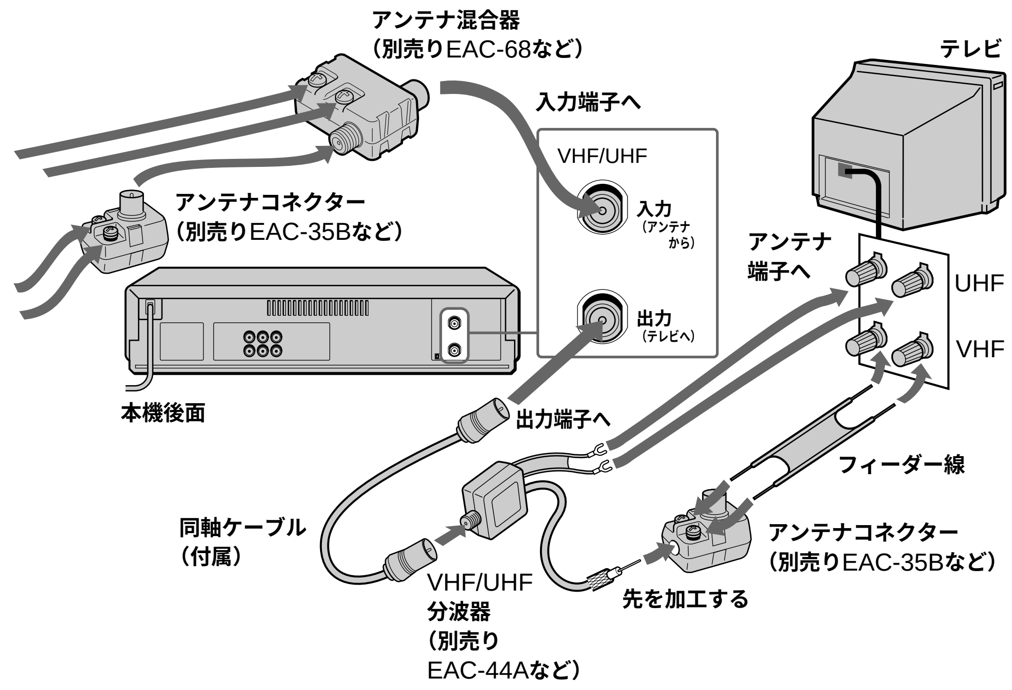
- 画像の乱れを防ぐために
  - 本機の上にテレビを直接置かないでください。
  - アンテナ線はなるべく短くし、本機から離してください。特にフィーダー線は同軸ケーブルにくらべて雑音電波などの影響を受けやすいため、本機から離してください。
- アンテナコネクターで、本機のVHF/UHF出力端子とテレビのアンテナ端子をつながないでください。

次のページにつづく

手順3：アンテナとテレビにつなぐ（つづき）

Ⓔ フィーダー線＋フィーダー線のとき

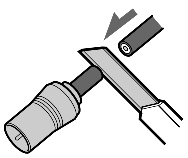




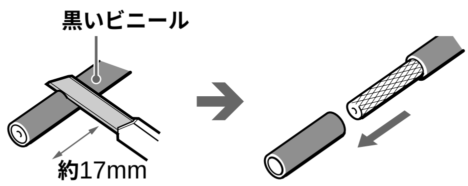
• フィーダー線をつなぐ（☞下記）

同軸ケーブルの先を加工する

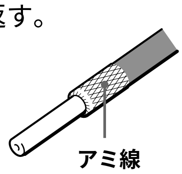
1 プラグが付いているときは、切り取る。



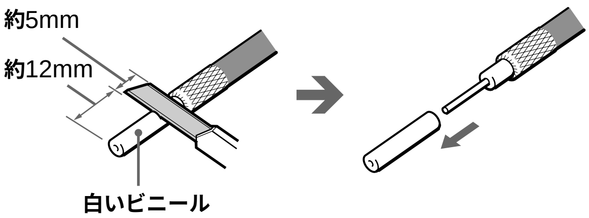
2 外側の黒いビニールだけにすじを入れて切り取る。



3 アミ線を折り返す。

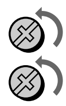


4 芯線にキズをつけないように、内側の白いビニールにすじを入れて切り取る。



フィーダー線をつなぐ

1 ネジをゆるめる。



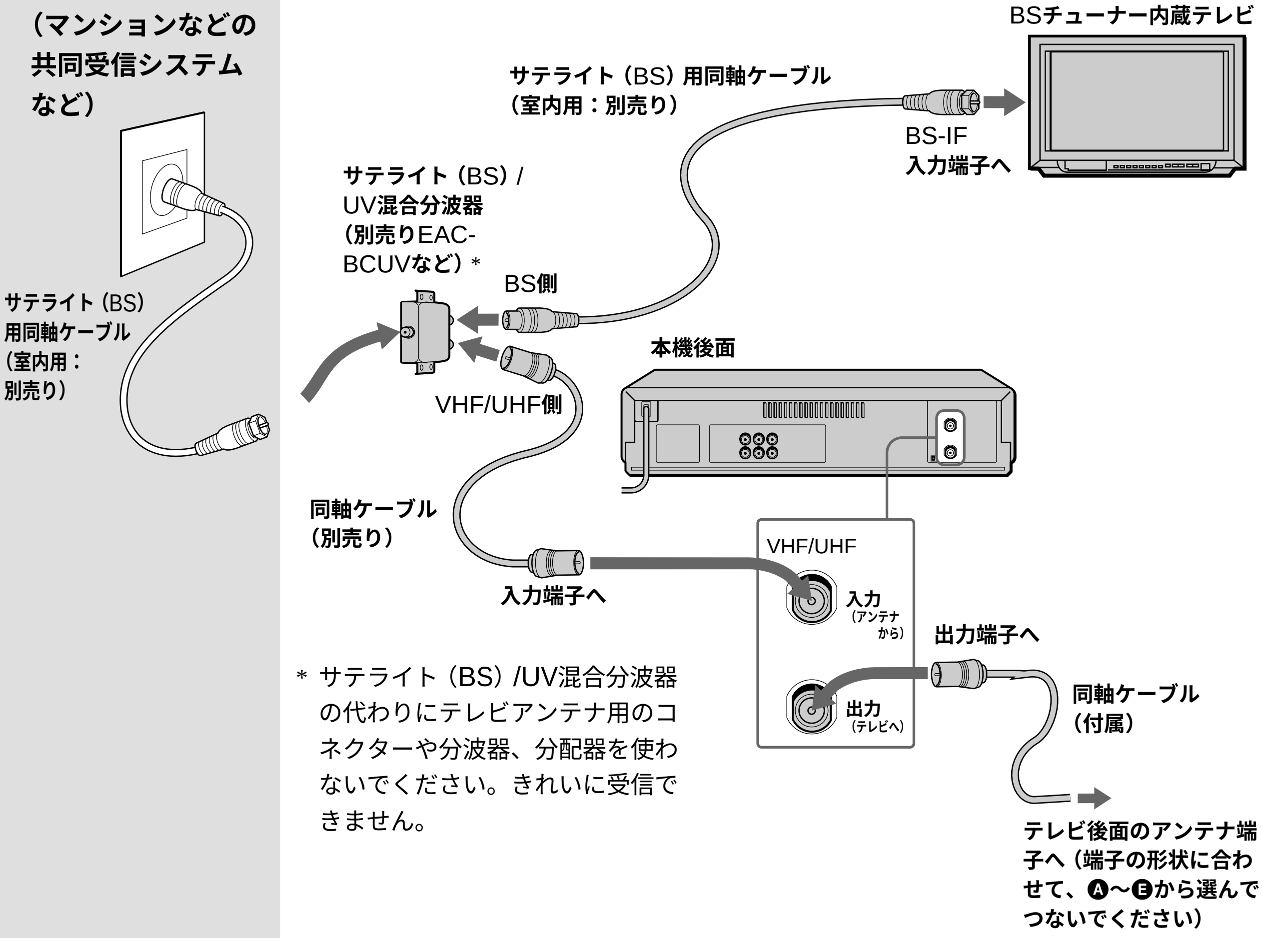
2 芯線を巻き付ける。



3 ネジをしめる。

❻壁のアンテナ端子がVHF/UHF/BS混合のとき

（マンションなどの共同受信システムなど）



＊ サテライト（BS）/UV混合分波器の代わりにテレビアンテナ用のコネクターや分波器、分配器を使わないでください。きれいに受信できません。

⚠警告

BSチューナー内蔵テレビなどのBS-IF入力端子には専用のケーブルをつないでください

サテライト（BS）用同軸ケーブル以外のケーブルをBS-IF入力端子に絶対つながないでください。BS-IF入力端子からはBSコンバーター用の電源が供給されているため、専用のケーブルをつながないとショートして火災などの事故の原因となることがあります。

推奨ケーブル

- 室内用：EAC-S310/S320/S330/S350/S3100など
- 室外用：SAK-C10/C20/C30など

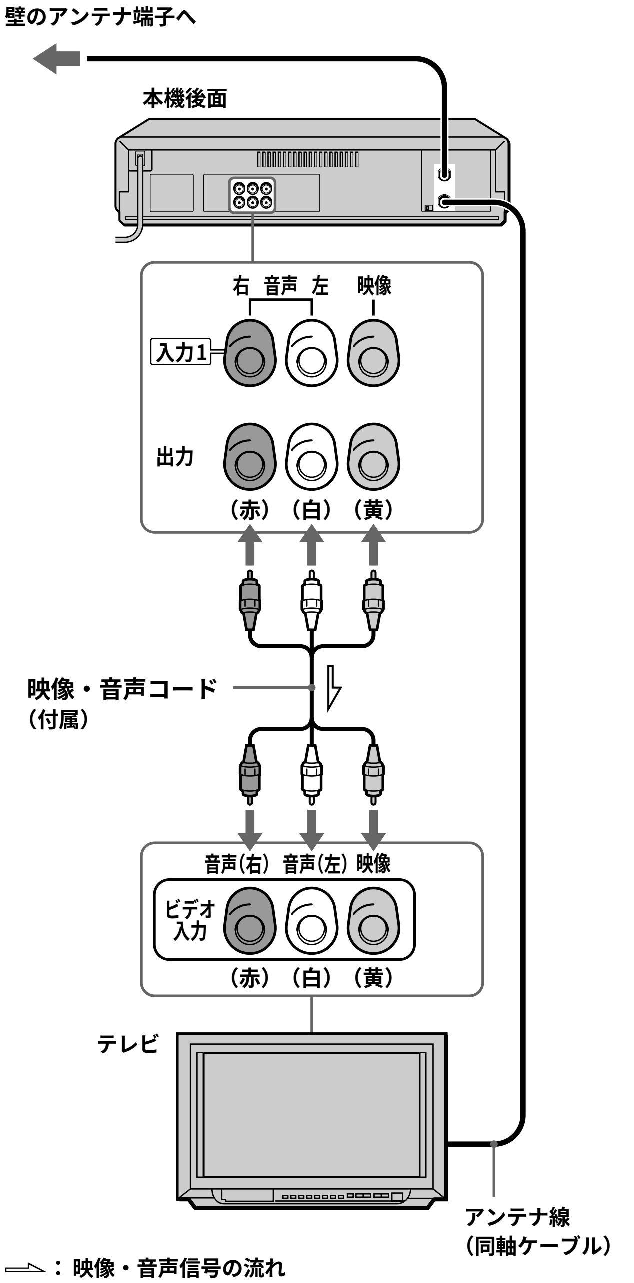
次のページにつづく

手順3：アンテナとテレビにつなぐ（つづき）

映像・音声コードをつなぐ

（テレビに映像・音声入力端子があるとき）

テレビに映像・音声入力端子があるときは、本機の出力端子とテレビの入力端子を付属の映像・音声コードでつなぎます。アンテナ線だけの接続より、きれいな画像とステレオ音声が楽しめます。



ビデオを見るときは

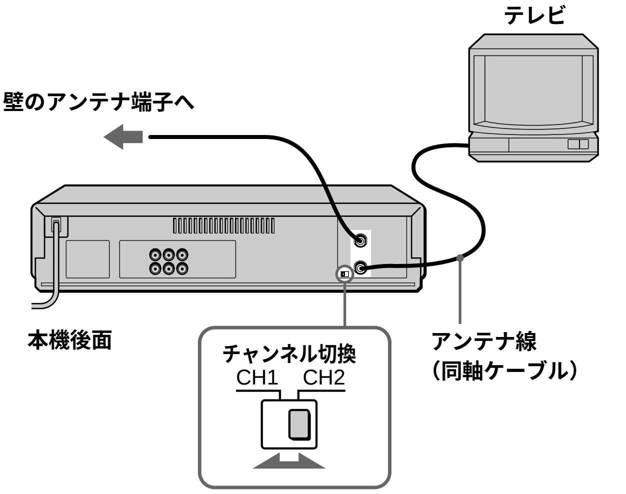
つないだテレビの端子（「ビデオ1」、「ビデオ2」など）をテレビの入力切り換えで選びます。

ちょっと一言

- メニューの「各種設定1」の「アンテナ切りかえ」は「手動」のままにしておきます（☛33ページ）。「自動」にすると録画中に裏番組を見るときに、テレビ/ビデオボタンを押す必要がありますが、「手動」ではその必要がなく便利です。
- テレビの音声入力端子が1個しかない場合は、別売りの映像・音声コードVMC-910MSなどでつないでください。

チャンネル切換スイッチを合わせる
（テレビに映像・音声入力端子がないとき）

テレビに映像・音声入力端子がなく、本機とテレビをアンテナ線（同軸ケーブル）だけでつないだときは、チャンネル切換スイッチを放送のないチャンネル（1または2）に合わせます。
このとき、メニューの「各種設定1」で「アンテナ切りかえ」を「自動」にしてください（☞33ページ）。



ビデオを見るときは

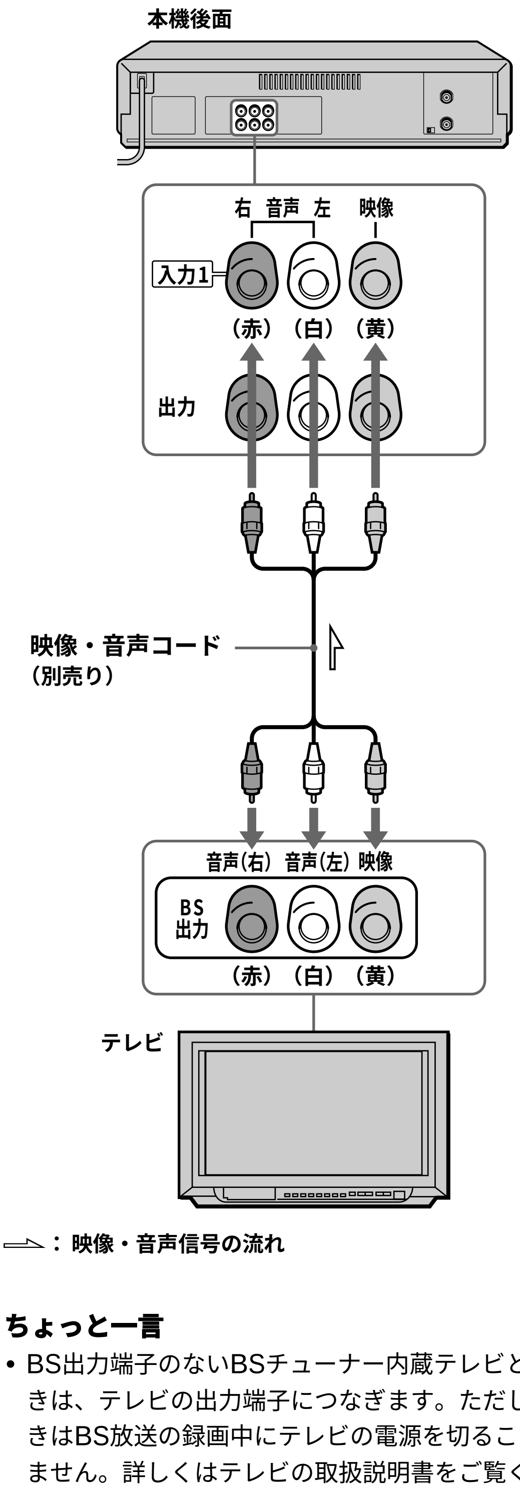
チャンネル切換スイッチで合わせたチャンネル（1または2）を、テレビのチャンネルで選びます。

ご注意

- UHF放送だけの地域でも、テレビのVHF端子と本機のVHF/UHF出力端子をつないでください（☞8ページ）。つながないと、ビデオを見ることができません。
- 音声は常にモノラルになります。

BSチューナー内蔵テレビなどとつなぐ

本機はBSチューナーを内蔵していませんが、BSチューナー内蔵テレビやBSチューナーのBS出力端子とつなぐと、BS放送の録画や予約ができます。

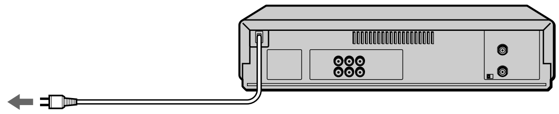


ちょっと一言

- BS出力端子のないBSチューナー内蔵テレビとつなぐときは、テレビの出力端子につなぎます。ただし、このときはBS放送の録画中にテレビの電源を切ることができません。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

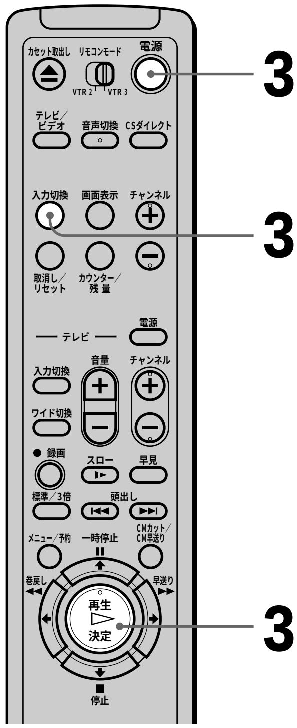
手順4：電源コードをつなぐ

電源コードは必ず、すべての接続が終わってからつないでください。



手順5：接続の確認をする

ここでは、アンテナとテレビに本機が正しくつながれていることを確認します。



1 **テレビの電源を入れる。**

テレビ画面にテレビ番組が映れば、アンテナ線は正しく接続されています。

2 **テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

本機とテレビをアンテナ線だけでつないだときは、テレビのチャンネルを1または2に合わせます。

3

- **録画してあるカセットがあるとき**

1 カセットを入れる。
ビデオの電源が自動的に入ります。

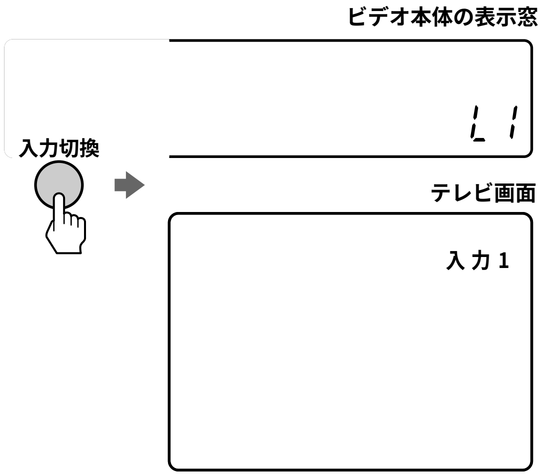
2 再生▷ボタンを押す。
テレビ画面にビデオの画像が映り、音声が聞こえれば、本機とテレビは正しく接続されています。



- **録画してあるカセットがないとき**

1 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

2 入力切換ボタンを押して、チャンネルを変える。
ビデオ本体の表示窓と、テレビ画面に同じチャンネルが表示されれば、本機とテレビは正しく接続されています。



正しく接続されているときは、続いて「手順**6**：かんたん設定をする」（☞16ページ）をご覧ください。

こんなときは

テレビ番組が映らない。

→本機のVHF/UHF入力端子と壁のアンテナ端子をアンテナ線でつないでください（☞8〜11ページ）。
→本機のVHF/UHF出力端子とテレビのアンテナ端子を、付属の同軸ケーブルでつないでください（☞8〜11ページ）。
→アンテナ線、および付属の同軸ケーブルをしっかりとつないでください。

本機の電源が入らない。

→電源コードを正しくつないでください（☞14ページ）。

リモコンで操作できない。

→乾電池の⊕と⊖を正しい向きで入れてください（☞5ページ）。
→リモコンモードを確認してください（☞6ページ）。

再生画像が映らない、または音声が聞こえない。

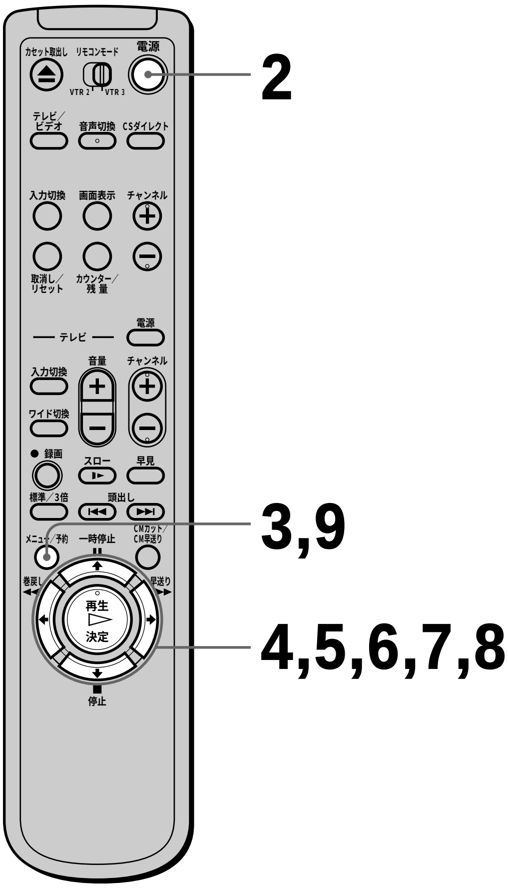
→テレビに映像・音声入力端子があるときは、本機の出力端子とテレビの入力端子を映像・音声コードでつないでください（☞12ページ）。
→本機とテレビをアンテナ線だけでつないだときは、チャンネル切換スイッチを放送のないチャンネル（1または2）に合わせてください（☞13ページ）。そのあと、テレビ/ビデオボタンを押して、ビデオ本体の「ビデオ」表示を出してください。
→映像・音声コードのプラグを端子にしっかりと差し込んでください。

テレビ画面にチャンネルが表示されない。

→テレビに映像・音声入力端子があるときは、本機の出力端子とテレビの入力端子を映像・音声コードでつないでください（☞12ページ）。
→本機とテレビをアンテナ線だけでつないだときは、チャンネル切換スイッチを放送のないチャンネル（1または2）に合わせてください（☞13ページ）。
→映像・音声コードのプラグを端子にしっかりと差し込んでください。

手順6：かんたん設定をする（チャンネル・時計合わせ）

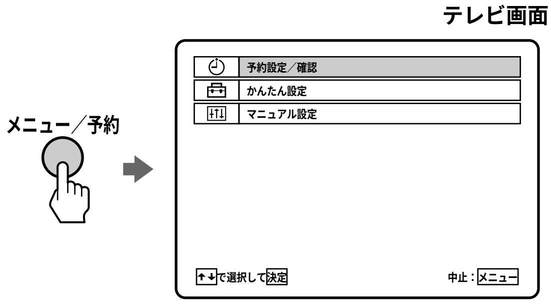
自動チャンネル合わせと時計合わせをまとめてできます。予約するには、本機の時計を正しく合わせておく必要があります。



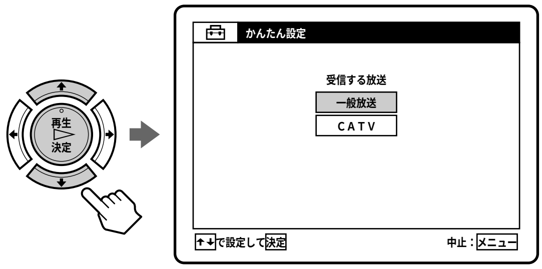
1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。**

3 **メニュー/予約ボタンを押す。**

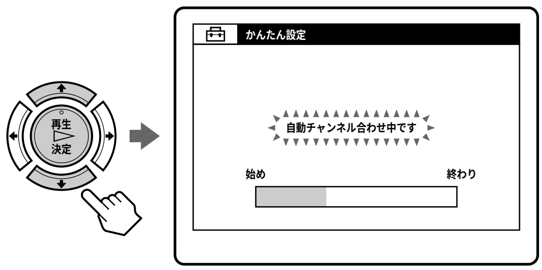


4 **↑/↓で「かんたん設定」を選び、決定ボタンを押す。**

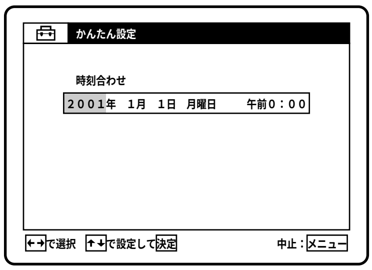


5 **↑/↓で受信する放送局を選び、決定ボタンを押す。**

「自動チャンネル合わせ」が行われます。



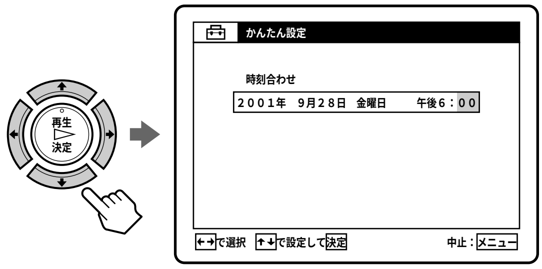
「自動チャンネル合わせ」が終わると、「時刻合わせ」の画面に移ります。



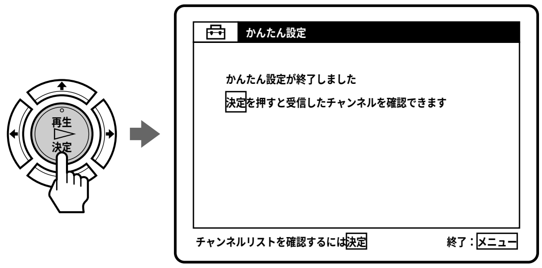
6 時計を合わせる。

1 ←/→で項目を選び、↑/↓で合わせる。

年、月、日、時、分を順に合わせていきます。

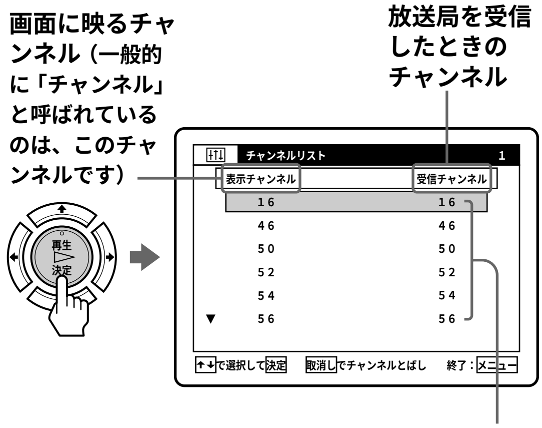


2 時報と同時に決定ボタンを押す。



7 決定ボタンを押す。

チャンネルリスト画面が出ます。



例：小田原地域にお住まいのときの受信チャンネル

手順**4**で「CATV」を選んだときは、受信チャンネルの番号の前に、CATVのチャンネルを示す「C」がつきます（例：C13）。

8 ↑/↓で受信したチャンネルを確認する。

受信チャンネルに「--」が表示されているときは、正しく録画できないことがあります。「こんなときは」（☞18ページ）をご覧ください。

9 確認が終わったら、メニュー/予約ボタンを押す。

メニューが消えます。時計合わせとチャンネル合わせが終わりました。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは

メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順**3**からやり直してください。

かんたん設定を途中でやめるには

メニュー/予約ボタンを押します。

ちょっと一言

- チャンネル合わせや時計合わせは、それぞれメニューの「マニュアル設定」でも設定できます。
- 時計の自動補正（ジャストクロック）ができます（☞29ページ）。

ご注意

- 年、月、日、時、分が間違っていると、希望の日時に予約録画されません。

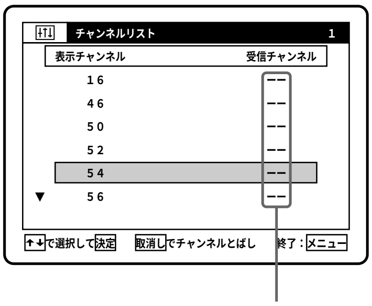
次のページにつづく

手順6：かんたん設定をする（つづき）

こんなときは

チャンネルが受信できていない

→本機のVHF/UHF入力端子と壁のアンテナ端子をアンテナ線でつないでください（☛8〜11ページ）。接続後に、もう一度手順**3**からやり直します。



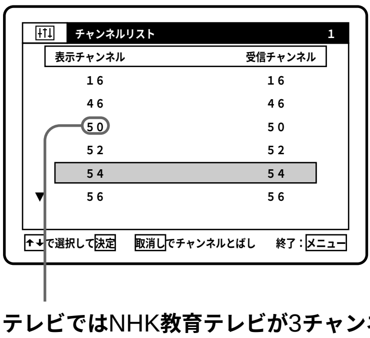
受信チャンネルが「--」になっている

一部のチャンネルが受信できていない

→「受信できる放送局を追加する」（☛21ページ）にしたがって、手順で受信できる放送局を追加してください。

ビデオのチャンネルの番号が、テレビのチャンネルと違う

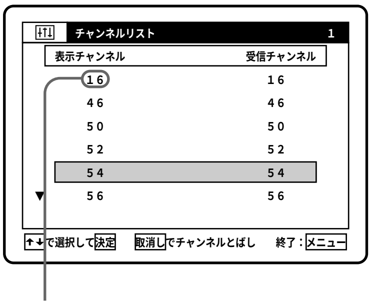
→「チャンネルの番号をテレビに合わせる」（☛19ページ）にしたがって、テレビのチャンネルに合わせてください。



例：テレビではNHK教育テレビが3チャンネルなのに、ビデオでは50チャンネルになった

不要なチャンネルが映る

→「不要なチャンネルをとばす」（☛22ページ）にしたがって削除してください。



不要なチャンネルが映っている

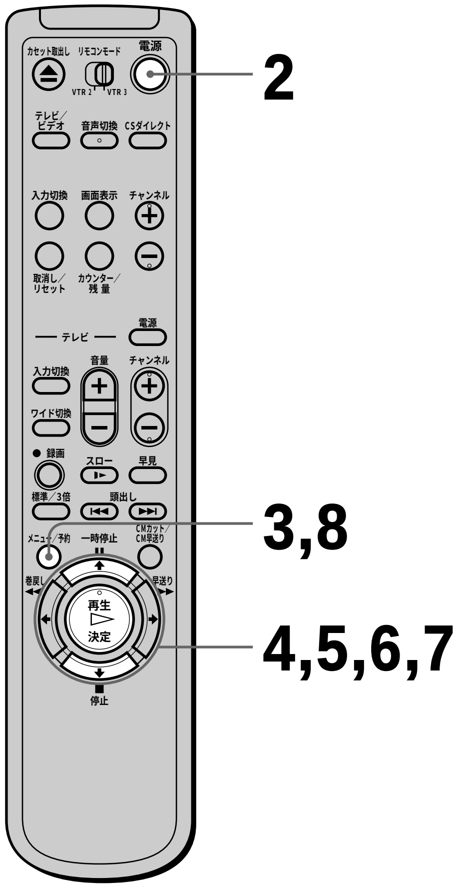
ビデオ本体の表示窓に「L1」表示しか出ない

→本機のVHF/UHF入力端子と壁のアンテナ端子をアンテナ線でつないでください（☛8〜11ページ）。接続後に、もう一度手順**3**からやり直します。

チャンネルの番号をテレビに合わせる

「手順**6**：かんたん設定をする」（☛16ページ）でチャンネルを合わせれば、お住まいの地域で受信できるチャンネルはご覧になれます。
ただしチャンネルを自動で合わせたときには、これまでご覧になっていたチャンネルと違うチャンネルになる場合があります。
例：テレビではNHK教育テレビが3チャンネルなのに、ビデオでは50チャンネルになった
このようなときは、手動でテレビと同じチャンネルに変えることができます。

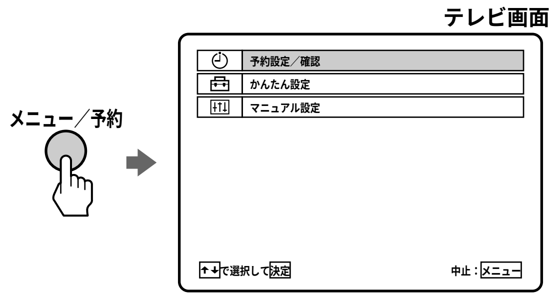




1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

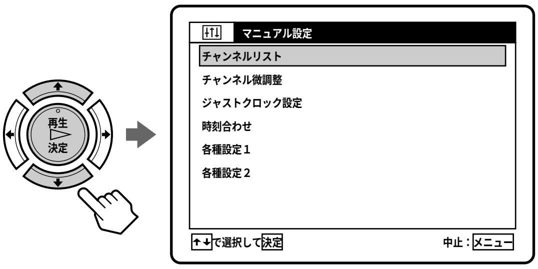
3 メニュー/予約ボタンを押す。



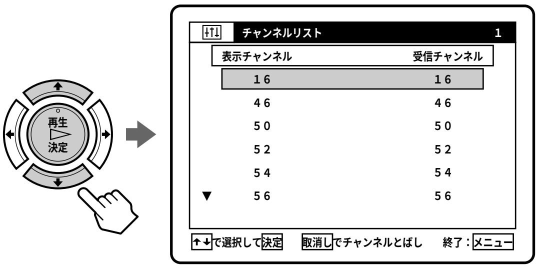
次のページにつづく

チャンネルの番号をテレビに合わせる（つづき）

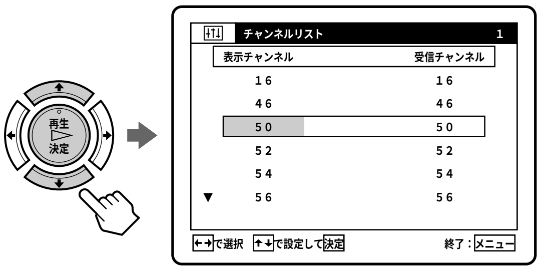
4 **↑/↓で「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す。**



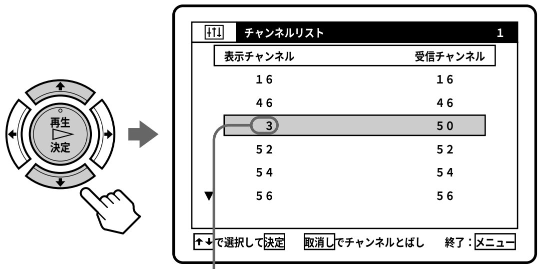
5 **↑/↓で「チャンネルリスト」を選び、決定ボタンを押す。**



6 **↑/↓で合わせたいチャンネルの行を選び、決定ボタンを押す。**



7 **↑/↓で「表示チャンネル」を変えて、決定ボタンを押す。**



例：50チャンネルを3チャンネルに変えたいときは、ここ（表示チャンネル）を「3」にする

8 **メニュー/予約ボタンを押す。**
メニューが消えます。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは

メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順**3**からやり直してください。

ちょっと一言

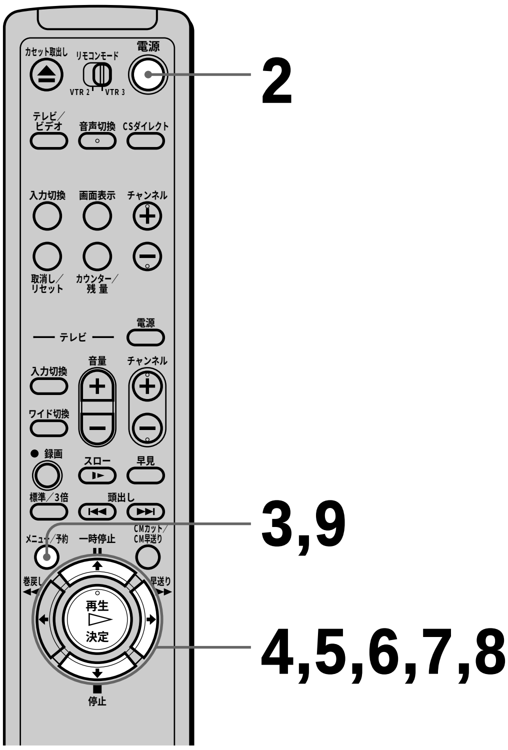
- ビデオチャンネル＋/－ボタンなどを押して、録画するチャンネルを選ぶときは、「チャンネルリスト」の「表示チャンネル」の並び順で、VHF/UHFチャンネルが切り換わります。

ご注意

- 同じ番号の表示チャンネルは設定できません。設定しようとしている番号が他のチャンネルで使われているときは、先に入れた番号または現在設定しようとしている番号を変更してください。

受信できる放送局を追加する

「手順**6**：かんたん設定をする」（☛16ページ）で受信できなかった放送局のチャンネルを、手動で追加することができます。

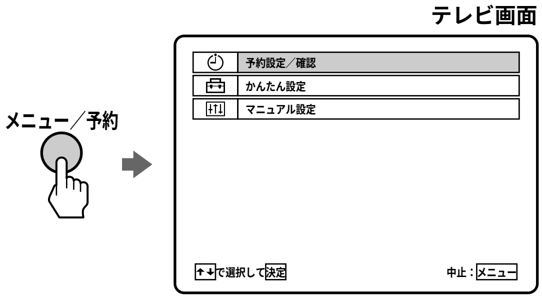


1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

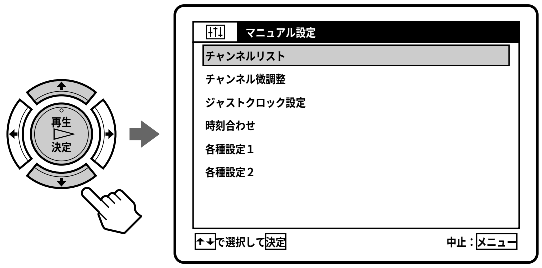
2 **電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。**

3 **メニュー/予約ボタンを押す。**

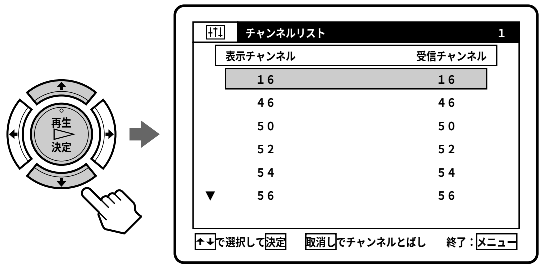
テレビ画面



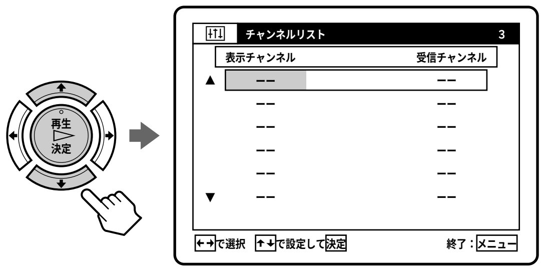
4 **↑/↓で「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す。**



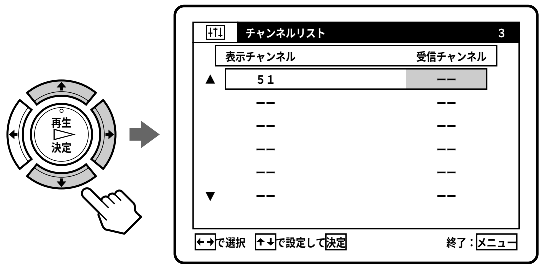
5 **↑/↓で「チャンネルリスト」を選び、決定ボタンを押す。**



6 **↑/↓で何も設定されていない行（「-- --」）を選び、決定ボタンを押す。**

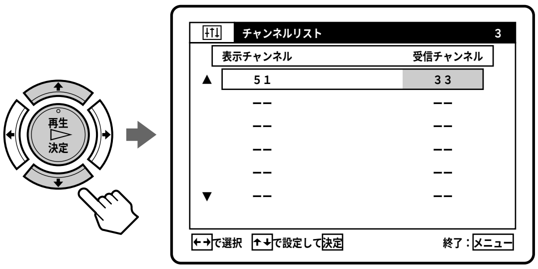


7 **↑/↓で「表示チャンネル」に表示チャンネルを入れ、→を押す。**



次のページにつづく

8 **↑/↓で「受信チャンネル」に受信チャンネルを入れ、決定ボタンを押す。**



9 **メニュー/予約ボタンを押す。**
メニューが消えます。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは

メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順**3**からやり直してください。

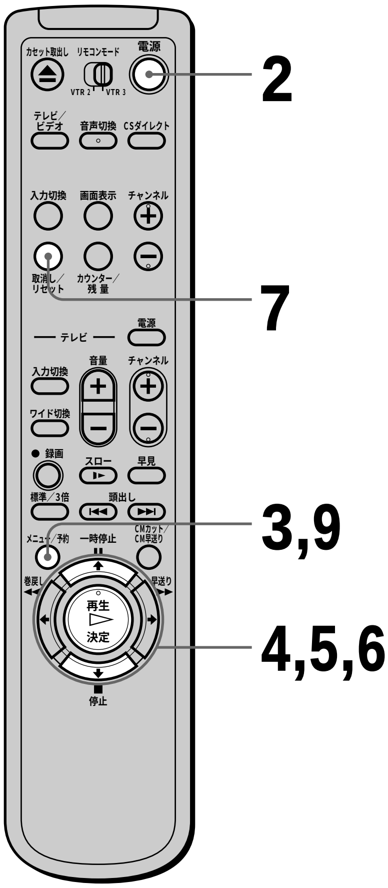
ご注意

- 同じ番号の表示チャンネルは設定できません。設定しようとしている番号が他のチャンネルで使われているときは、先に入れた番号または現在設定しようとしている番号を変更してください。

不要なチャンネルをとばす

不要なチャンネルを映らないようにします。チャンネル＋/－ボタンでチャンネルを選ぶときに、映るチャンネルだけ見ることができます。



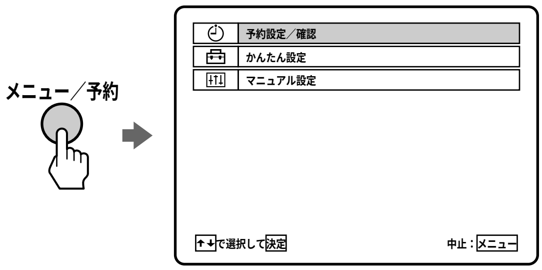


1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

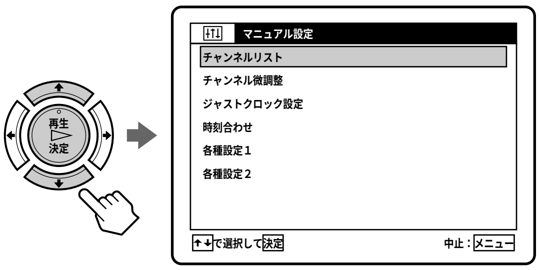
2 **電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。**

3 **メニュー/予約ボタンを押す。**

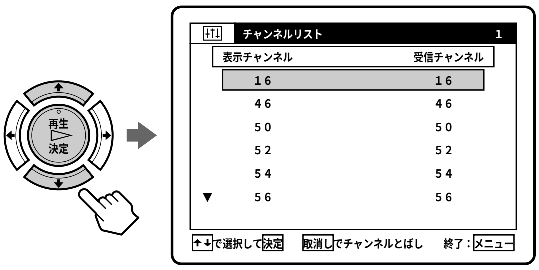
テレビ画面



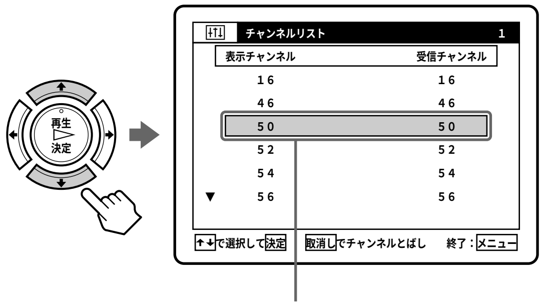
4 **↑/↓で「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す。**



5 **↑/↓で「チャンネルリスト」を選び、決定ボタンを押す。**

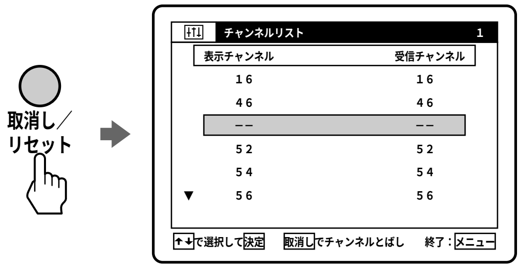


6 **↑/↓でとばしたいチャンネルの行を選ぶ。**



例：50チャンネルをとばしたいときは、この行を選ぶ

7 **取消し/リセットボタンを押す。**



8 **他のチャンネルをとばすときは、手順6と7を繰り返す。**

9 **終ったらメニュー/予約ボタンを押す。**
メニューが消えます。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは

メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順**3**からやり直してください。

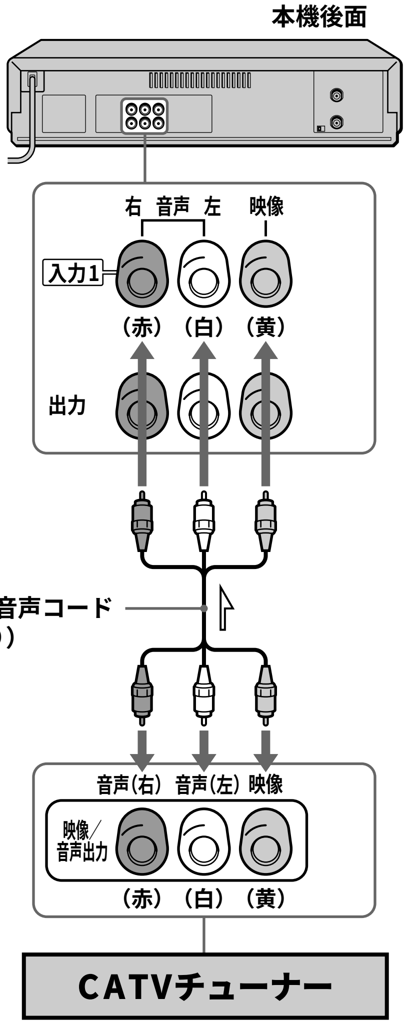
ご注意

- 予約した番組の表示チャンネルをとばすと、その番組を録画できなくなります。予約を確認・変更してください（☞42ページ）。
- 時計の自動補正（ジャストクロック☞29ページ）を設定しているチャンネル（NHK教育テレビ）をとばすと、自動補正ができなくなります。このときは、NHK教育テレビを受信できるように追加して（☞21ページ）から、ジャストクロックの設定をやり直してください。

別売りのチューナーをつなぐ

ケーブルテレビ（CATV）をつなぐ

CATV局と受信契約すると送られてくるCATVチューナーをつなぐと、CATVを受信することができます。なお、CATVは受信できない地域もあります。詳しくは、お近くのCATV局にお問い合わせください。
CATVチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
本機とCATVチューナーの接続のしかたがわからないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。



⟶：映像・音声信号の流れ

CATVを受信するには

1 CATVチューナーで、受信したいチャンネルを選ぶ。

2 本機のビデオチャンネル＋/ーボタンを押して、ビデオ本体の表示窓に「L1」を出す。

CATVのVHF/UHF放送のチャンネルを本機で受信するには

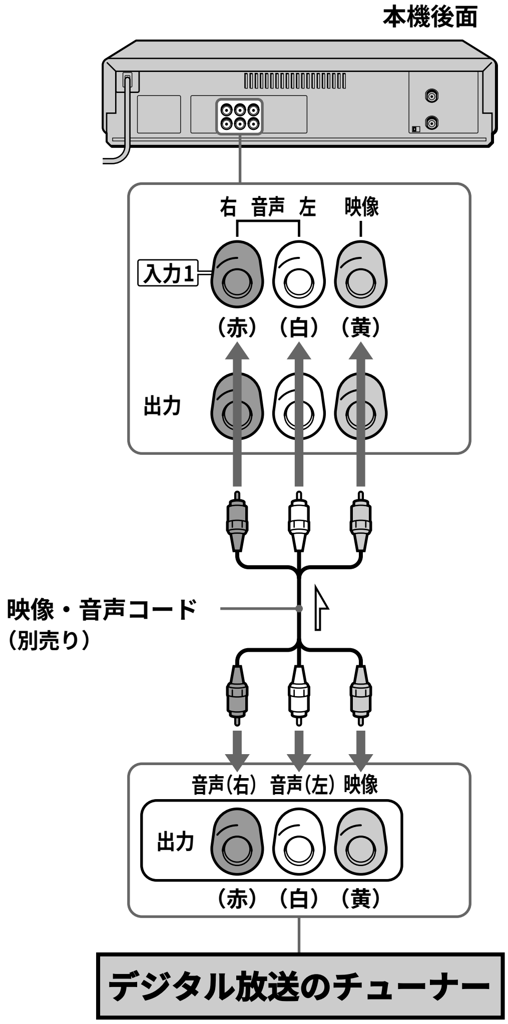
CATVのVHF/UHF放送の中には、本機で受信できるチャンネルもあります。

1 F型コネクター付き同軸ケーブル（別売り）で本機のVHF/UHF入力端子とCATVチューナーのVHF/UHF出力端子をつなぐ。

2 かんたん設定（☞16ページ）をする。手順**5**で「CATV」を選ぶ。
- **手動で**CATV**のチャンネルを設定したいときは**
  「受信できる放送局を追加する」（☞21ページ）にしたがって設定する。手順**8**（☞22ページ）で受信したいチャンネルの番号（例：C30）を入れる。

デジタルBSやCSチューナーをつなぐ

デジタルBSやCSチューナーをつなぐと、本機でデジタルBSやCS放送を録画できます。デジタルCS放送の受信には、デジタルCS放送局との受信契約が必要です。
本機は録画防止機能（コピーガード）に対応していますので、コピーガードされた番組は、正しく録画できません。デジタルBSやCSチューナーを本機に接続して番組を視聴する場合、番組によっては録画機能の作動の有無にかかわらず視聴のみでも画面が乱れます。この場合、デジタルBSやCSチューナーを直接テレビにつないでください。
デジタルBSやCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。



：映像・音声信号の流れ

ソニーのデジタルCSチューナーは、本機の近くに設置してください

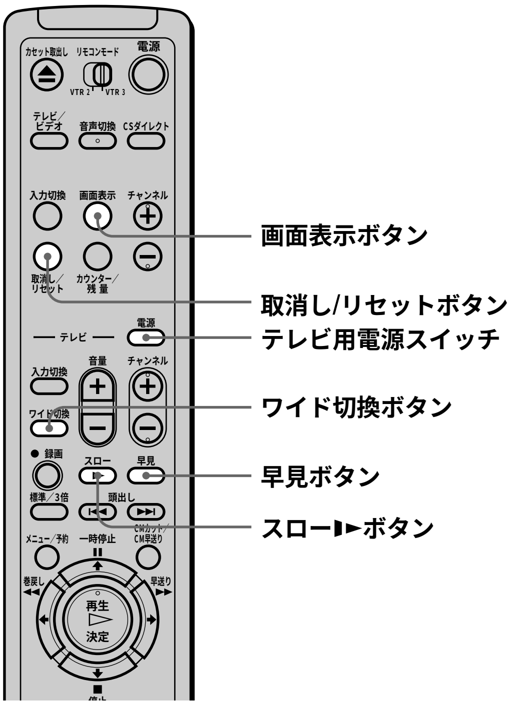
リモコンのCSダイレクトボタンを押すと、本機とデジタルCSチューナーにリモコン信号を同時に送り、両方の電源を入れ、デジタルCS放送を見ることができます（☞57ページ）。本機とソニーのデジタルCSチューナーが離れていると、リモコン信号が届きません。設置後にリモコンのCSダイレクトボタンを押して、本機とデジタルCSチューナーの電源が入ることを確認してください。

ちょっと一言

- デジタルBSやCSチューナーに番組予約機能があるときは、チューナーの電源と連動した予約録画ができます（シンクロ録画☞59ページ）。

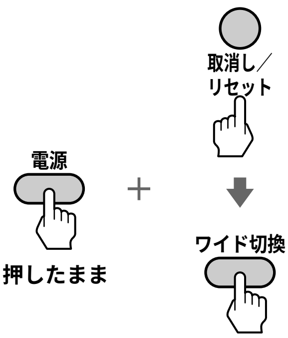
リモコンで各社のテレビを操作する

リモコン信号をお手持ちのテレビのメーカーに合わせると、本機のリモコンでテレビのチャンネルや音量、電源を操作できます。お買い上げ時はソニーのⓇマーク付きテレビを操作できるよう設定されています。



テレビ用電源スイッチを押しながら、次の表に従い、「①番目に押す」、「②番目に押す」の順にボタンを押す。

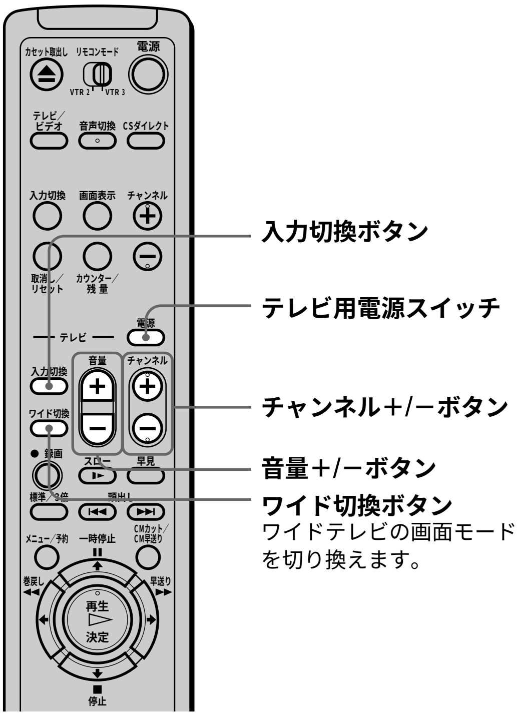
例：松下電器のテレビを使用するときは、電源ボタンを押しながら、取消し/リセットボタン、ワイド切換ボタンの順に押してください。



テレビのメーカー	①番目に押す	②番目に押す
ソニー（Ⓡマーク付き）（お買い上げ時の設定）	取消し/リセット	画面表示
ソニー（Ⓡマーク無し）*2	ワイド切換	早見
アイワ	早見	取消し/リセット
NEC	ワイド切換	取消し/リセット
三星（SAMSUNG）	早見	画面表示
三洋電機1*1	画面表示	スロー▮▶
三洋電機2 *1	スロー▮▶	ワイド切換
シャープ1*1	画面表示	早見
シャープ2 *1	スロー▮▶	早見
東芝	取消し/リセット	スロー▮▶
日本ビクター	画面表示	ワイド切換
パイオニア *2	ワイド切換	画面表示
日立製作所	取消し/リセット	早見
富士通ゼネラル	ワイド切換	スロー▮▶
フナイ（PRECIOUS）	スロー▮▶	画面表示
松下電器1*1	取消し/リセット	ワイド切換
松下電器2 *1	スロー▮▶	取消し/リセット
三菱電機	画面表示	取消し/リセット

*1 操作できないときは、同じメーカーのもう1つの方法で設定してください。
*2 入力切換ボタンは使えません。

各社のテレビに使えるボタン



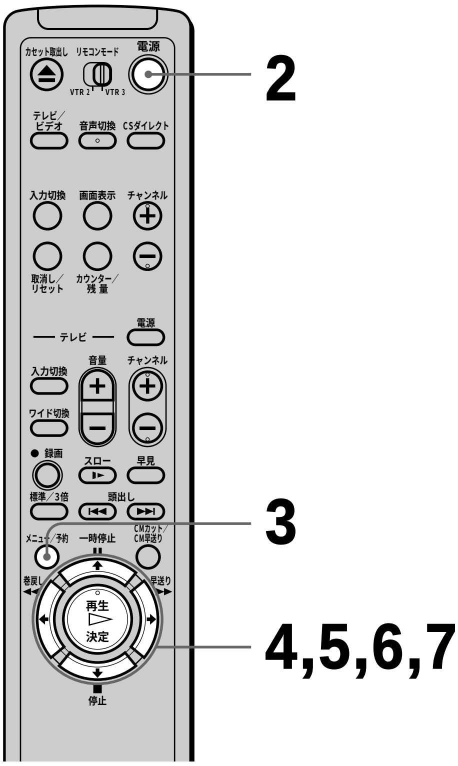
ご注意

- テレビによっては、メーカーの設定をしても操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。
- リモコンの乾電池を交換したときは、リモコンモード（☛6ページ）およびテレビのメーカー設定をやり直してください。

時計を合わせる

予約するには、時計を正しく合わせておく必要があります。時計は自動補正することができます（☛29ページ）。

かんたん設定を行った場合は、時計合わせは済んでいるので、次の操作は必要ありません（☛16ページ）。



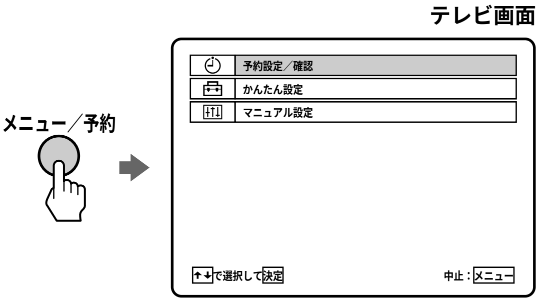
1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。**

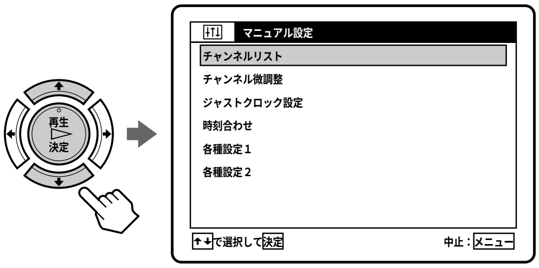
次のページにつづく

時計を合わせる（つづき）

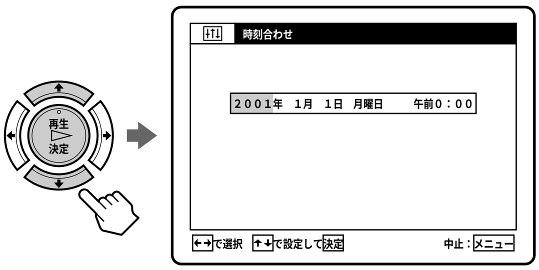
3 **メニュー/予約ボタンを押す。**



4 **↑/↓で「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す。**

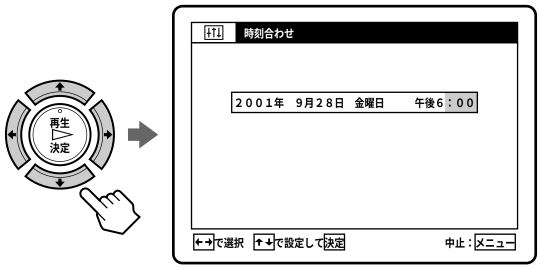


5 **↑/↓で「時刻合わせ」を選び、決定ボタンを押す。**



6 **←/→で項目を選び、↑/↓で合わせる。**

年、月、日、時、分を順に合わせていきます。



7 **時報と同時に決定ボタンを押す。**

メニューが消えます。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは

メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順**3**からやり直してください。

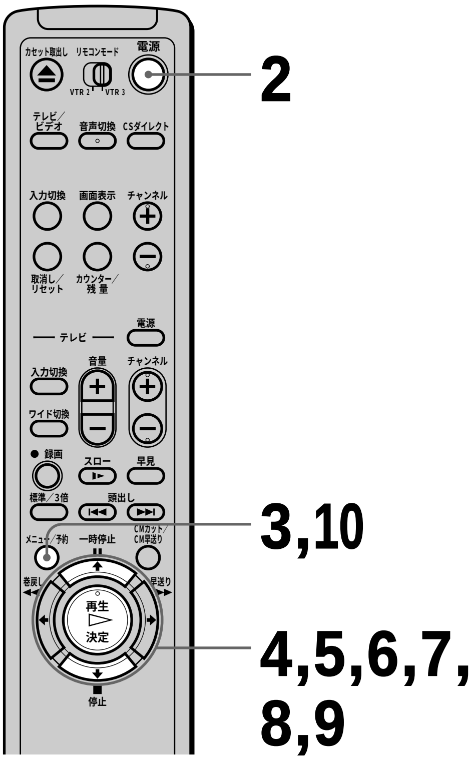
ご注意

- 年、月、日、時、分が間違っていると、希望の日時に予約録画されません。

時計を自動補正する

（ジャストクロック）

NHK教育テレビの正午の時報を読みとり、本機の時計を補正します（ただし、正午に時報が送信されない場合は、自動補正されません）。時計が2分以上ずれていると自動補正できませんので、あらかじめ時計を合わせておいてください。

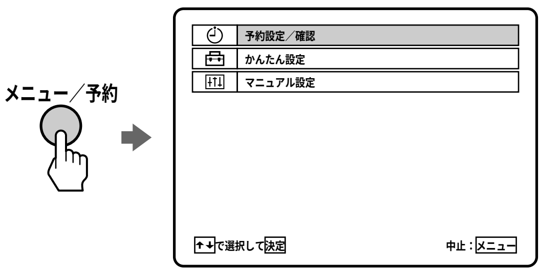


1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

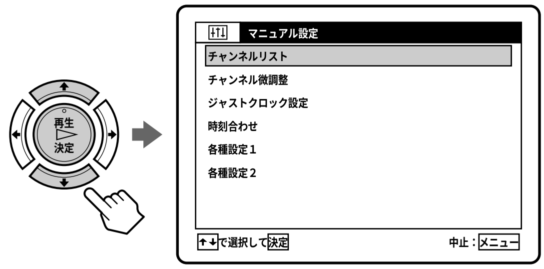
2 **電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。**

3 **メニュー/予約ボタンを押す。**

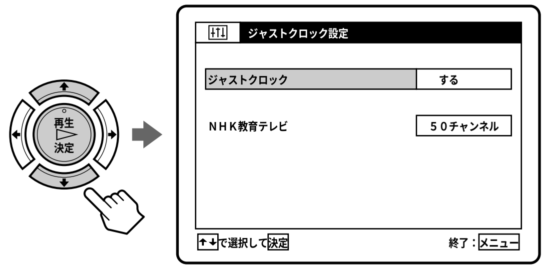
テレビ画面



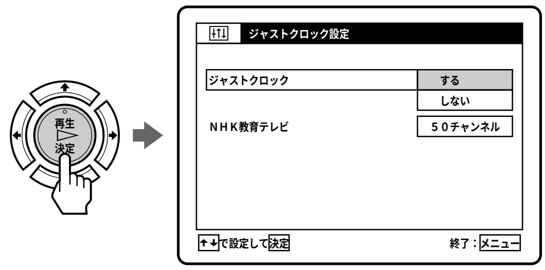
4 **↑/↓で「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す。**



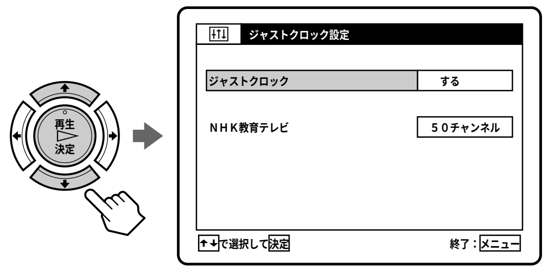
5 **↑/↓で「ジャストクロック設定」を選び、決定ボタンを押す。**



6 **決定ボタンを押す。**



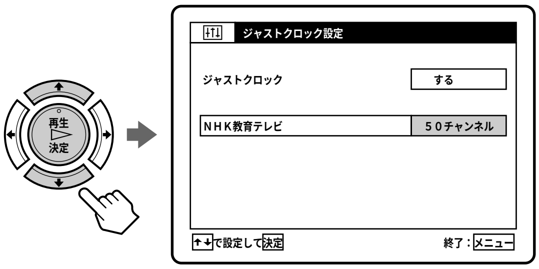
7 **↑/↓で「する」を選び、決定ボタンを押す。**



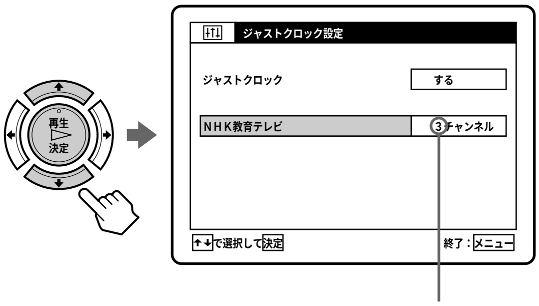
次のページにつづく

時計を合わせる（つづき）

8 **↑/↓で「NHK教育テレビ」を選び、決定ボタンを押す。**



9 **↑/↓でNHK教育テレビの表示チャンネルに合わせ、決定ボタンを押す。**



例：「NHK教育テレビ」の表示チャンネルが
　　3チャンネルのときは、ここを「3」にする

10 **メニュー/予約ボタンを押す。**
メニューが消えます。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは

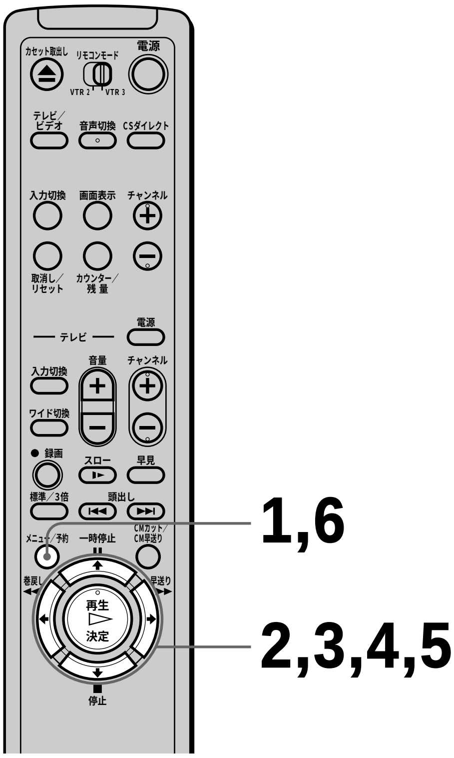
メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順**3**からやり直してください。

ご注意

- 正午に時報を読みとるとき、次の場合は自動補正できません。
  －本機の電源が入っている
  －シンクロ録画予約待機中
- 録画中にジャストクロックの設定はできません。
- NHK教育テレビのチャンネルを、不要なチャンネルとしてとばす（☛22ページ）と、時計の自動補正ができなくなります。このときは、NHK教育テレビを受信できるように追加して（☛21ページ）から、ジャストクロックの設定をやり直してください。

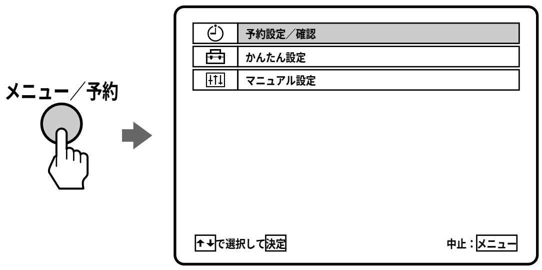
受信状態を調整する

本機ではテレビ放送の受信状態を自動的に調整するので、何もしなくてもきれいな画像をお楽しみいただけます。それでも映りが悪いときは、手動で調整してください。

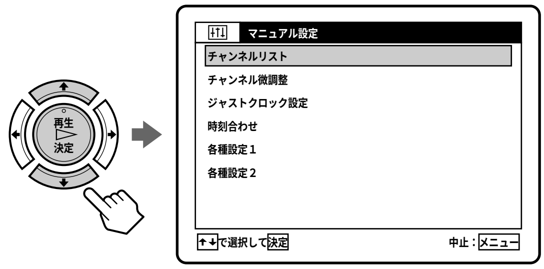


1 映りの悪いチャンネルを見ているときに、メニュー/予約ボタンを押す。

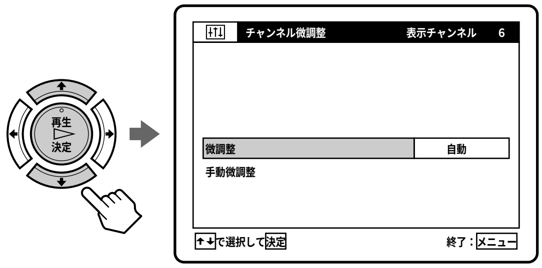
テレビ画面



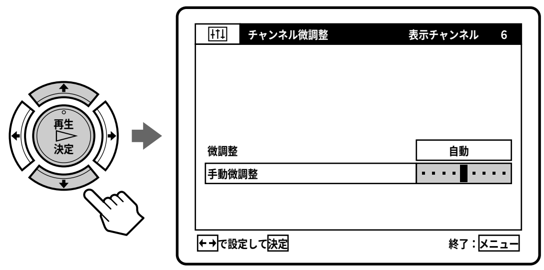
2 ↑/↓で「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す。



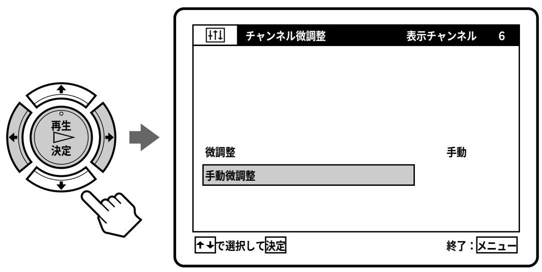
3 ↑/↓で「チャンネル微調整」を選び、決定ボタンを押す。



4 ↑/↓で「手動微調整」を選び、決定ボタンを押す。



5 ←/→で画面を見ながらきれいに映るように調整し、決定ボタンを押す。



次のページにつづく

6 **終わったらメニュー/予約ボタンを押す。**
メニューが消えます。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは

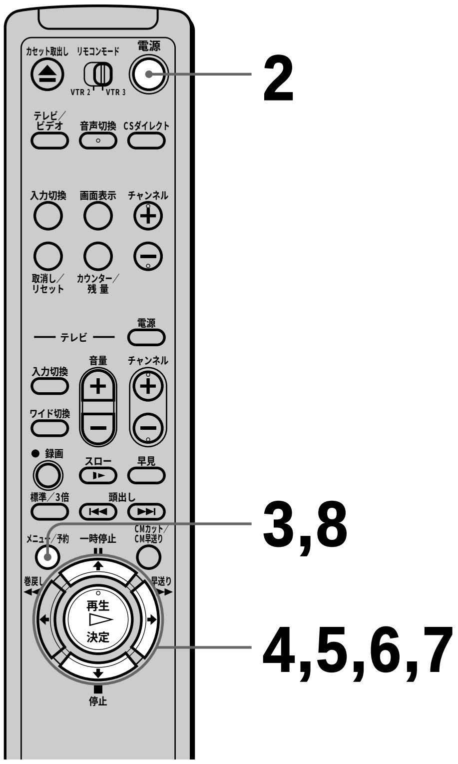
メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順**1**からやり直してください。

受信状態を自動調整に戻すには

手順**4**で、↑/↓で「微調整」を選び、決定ボタンを押します。そのあと、↑/↓で「自動」を選び、決定ボタンを押します。

お買い上げ時の設定を変える

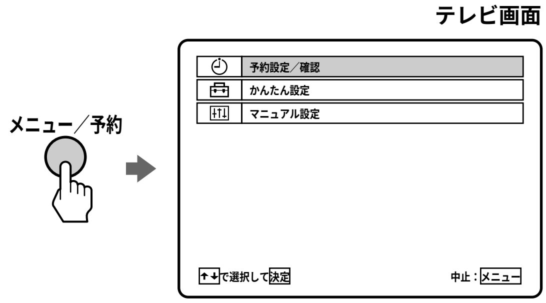
画面表示やアンテナ切り換えなどの設定を変えることができます。通常はお買い上げ時の設定で使えます。編集するときや、アンテナ線だけでテレビとつないだときなど、必要に応じて変えてください。



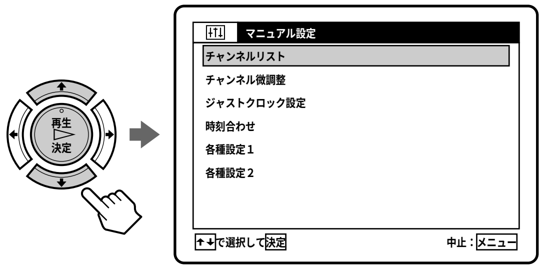
1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。**

3 **メニュー/予約ボタンを押す。**

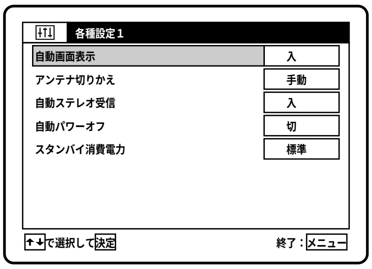


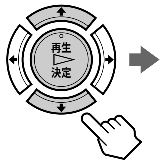
4 **↑/↓で「マニュアル設定」を選び、決定ボタンを押す。**



5 **↑/↓で「各種設定1」または「各種設定2」を選び、 決定ボタンを押す。**

「各種設定1」を選んだとき





「各種設定2」を選んだとき



6 **↑/↓で設定したい項目を選び、 決定ボタンを押す。**

7 **↑/↓で設定し、決定ボタンを押す。**

8 **メニュー/予約ボタンを押す。**
メニューが消えます。

メニューで選ぶ項目を間違えたときは

メニュー/予約ボタンを押します。メニュー画面が消えます。そのあと、手順**3**からやり直してください。

各設定の内容

●はお買い上げ時の設定です。

各種設定1

自動画面表示

●入	再生や早送り再生などの走行表示やお知らせガイドが出る（約3秒間出て消える）。
切	走行表示やお知らせガイドが出ない（他機での録画時に走行表示を入れたくないときにこの位置にする）。

アンテナ切りかえ

自動	映像・音声端子のないテレビとつないだときにこの位置にする。
●手動	映像・音声コードでテレビとつないだときにこの位置にする。

自動ステレオ受信

●入	ステレオ放送がステレオで聞ける（通常はこの位置にする）。
切	ステレオ放送でもモノラルになる（雑音が多いときにこの位置にする）。

自動パワーオフ

2時間	2時間使用しないと、自動的に電源が切れる。予約が設定されていると、予約待機になる。
6時間	6時間使用しないと、自動的に電源が切れる。予約が設定されていると、予約待機になる。
●切	電源は自動的に切れない。

スタンバイ消費電力*1

●標準	電源を切ると、ビデオ本体の表示窓の表示が点灯して、表示窓が暗くなる。
低	電源を切ると、ビデオ本体の表示窓の表示が消え、消費電力を減らす。

次のページにつづく

各種設定2

APC*2

●入	テープとヘッドの状態を自動判別し、最適な画質で再生、録画*3する（通常はこの位置にする）。
切	APCは働かない。

音声ミックス

入	アフレコした音声と元の音声を同時に聞くときにこの位置にする。
●切	通常はこの位置にする。

ピッタリ録画

入	録画モードを標準で録画中の1件の予約について、テープ残量が足りなくなると、録画モードが自動的に3倍になる。ただし、録画モードを3倍にしてもテープ残量が足りないときは、テープの終わりで録画が止まる。
●切	常に選んだ録画モードで録画する。

テープ残量切りかえ*4

●自動	通常はこの位置にする。
180	180分または140分テープ使用時にこの位置にする。

ダイヤルサーチ

入	ダイヤル予約録画つまみを使って、ダイヤルサーチが使える。録画した番組を頭出しできる。
●切	ダイヤルサーチは使えない。

音声付早見再生

入	早見ボタンを押すと、1.5倍速で再生し、音声が聞こえる。音声はモノラルになり、本来の音声・音調とは異なる。
●切	早見ボタンを押すと、2倍速で再生し、音声は出ない。

*1 メニューの「各種設定1」の「スタンバイ消費電力」を「低」にしても、予約待機中は、時計などの表示が点灯します。

*2 Adaptive Picture Control（アダプティブ・ピクチャー・コントロール）の略です。

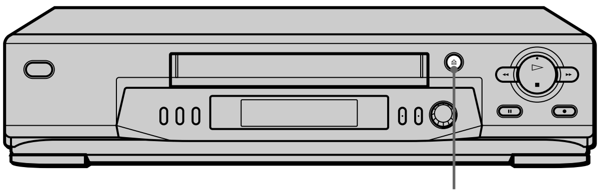
*3 録画一時停止中にビデオ本体の「APC」表示が点滅するときは、録画●ボタンを押します。「APC」表示が点滅から点灯に変わります。これを確かめてから録画を始めてください。点滅した状態で録画を始めても、APCは働きません。

*4 テープの種類によっては残量表示が正しく表示されないことがあります。

操作音を鳴らす

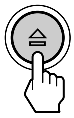
本機の電源を入/切したとき、および録画が始まるときに、次のような操作音を鳴らすことができます。

動作	操作音
電源が入る	「ピッ」
電源が切れる	「ピピッ」
録画が始まる	「ピッ」
チャンネルを切り換えているときに入力1（L1）になった	「ピッ」
録画モードを切り換えているときに「標準」を選んだ	「ピッ」
ダイヤルで録画予約をしているときに録画チャンネルを入力1（L1）にした	「ピッ」
録画●ボタンを繰り返し押してクイックタイマー録画が解除され、通常の録画にもどった。	「ピピッ」
カセットが入っていない状態で予約待機になった	「ピピピ」
テープが終わりまで進んでいる状態で予約待機になった	「ピピピ」



カセット取出し⏏ボタン

ビデオ本体のカセット取出し⏏ボタンを3秒以上押す。
「ピッ」と音がして、操作音が鳴る状態になります。
カセットが入っているときは、カセットを取り出してから、カセット取出し⏏ボタンを押してください。



操作音を消すには

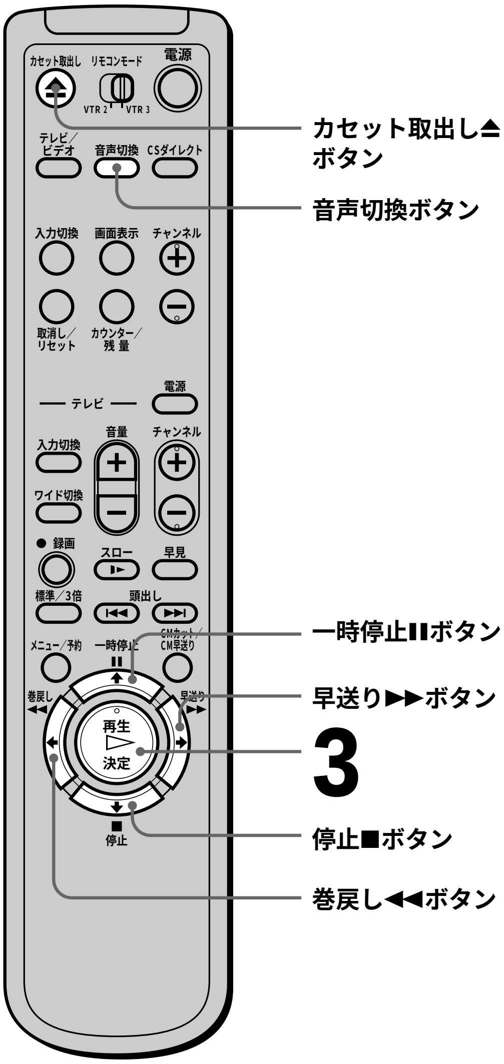
ビデオ本体のカセット取出し⏏ボタンを3秒以上押します。
「ピピッ」と鳴って、操作音が鳴らなくなります。

ご注意

- 録画●ボタンを押しても、すぐには「ピッ」と鳴りません。本機の録画の準備が終わり、録画が始まるときに「ピッ」と鳴ります。

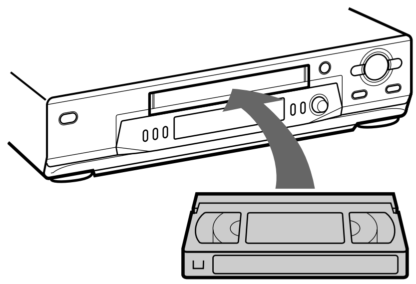
ビデオを見る

S-VHSまたはVHSのビデオテープを再生して見ることができます。ただし、S-VHSの本来の解像度は得られません（簡易再生）。



1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **カセットを入れる。**
ビデオの電源が自動的に入ります。



3 **再生▷ボタンを押す。**



再生を止めるには

停止■ボタンを押します。

再生を一時停止するには

一時停止❚❚ボタンを押します。
もう一度押すか5分以上たつと、再生に戻ります。

巻き戻し・早送りするには

停止中に巻戻し◀◀ボタンまたは早送り▶▶ボタンを押します。
巻き戻し中または早送り中にもう一度押すと、押している間、画像が見られます。

カセットを取り出すには

カセット取出し⏏ボタンを押します。

⚠注意

小さなお子様がカセット挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがをすることがあります。

ちょっと一言

- ツメの折れたカセットを入れると、自動的に再生が始まります。
- 二か国語放送などの音声を切り換えるには、音声切換ボタンを押します（☞46ページ）。

ご注意

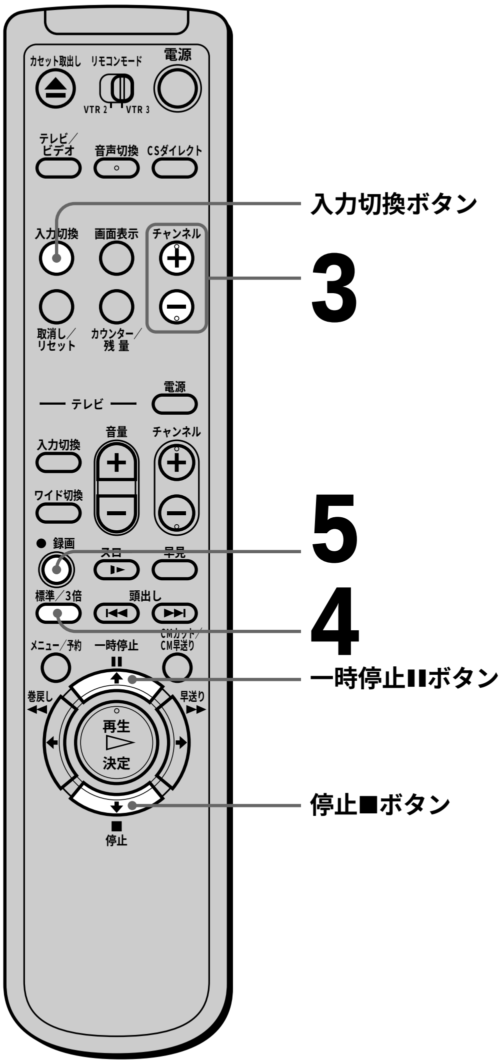
- カセット挿入口にS-VHSまたはVHSカセット以外のものを入れないでください。故障の原因になります。

こんなときは

- **リモコンで操作できない。**
  →リモコンモードを確認してください（☞6ページ）。

録画する

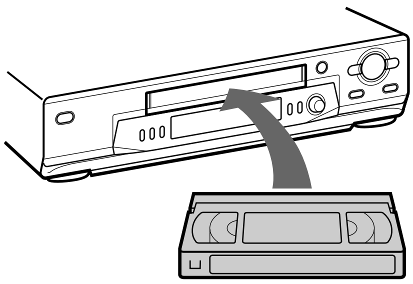
テレビで見ている番組を録画したり、裏番組を録画したりできます。



1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **カセットを入れる。**

ビデオの電源が自動的に入ります。



3 **（ビデオ）チャンネル+/−ボタンを押して録画するチャンネルを選ぶ。**

＋ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

VHF/UHFチャンネル（1、3、…）→入力1（L1）



- BS**チューナー内蔵テレビで受信した**BS**放送を録画するには**

  「L1」（テレビのBS出力とつないでいる本機の入力端子）を選びます。その後、テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、録画したいBSチャンネルをテレビで選びます。

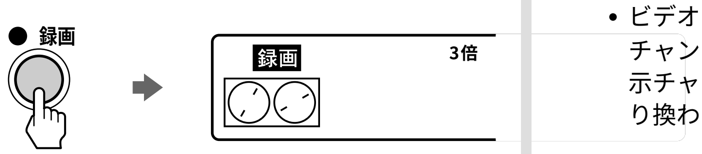
4 **標準**/3**倍ボタンを押して、録画モードを選ぶ。**

長時間録画したいときは、ビデオ本体の表示窓に「3倍」を出します。標準の3倍長く録画できます。画質は「標準」の方が優れています。



5 録画●ボタンを押す。

このあとテレビの電源を切っても、録画に影響はありません。



- **BSチューナー内蔵テレビで受信したBS放送を録画しているときは**
  BSチャンネルを変えないでください。録画されるチャンネルが変わってしまいます。またBSチューナー内蔵テレビの種類によっては、テレビの電源を切ると録画できない場合もあります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- 本機の入力端子につないだ機器から録画するときは、手順**3**で入力切換ボタンを押して「L1」を選ぶこともできます。
- ビデオチャンネル+/−ボタンなどを押して、録画するチャンネルを選ぶときは、「チャンネルリスト」の「表示チャンネル」の並び順で、VHF/UHFチャンネルが切り換わります。

ご注意

- 本機の3倍モードで録画したテープは、標準モード専用のVHSビデオデッキでは再生できません。
- 3倍モード付きのVHSビデオデッキでも、他機では再生時にノイズが出ることがあります。

録画中に裏番組を見るには

テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、テレビのチャンネルを選びます。録画に影響はありません。

録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

録画を一時停止するには

一時停止❚❚ボタンを押します。録画一時停止が5分以上続くと自動的に停止します。

録画中に録画を止めるまでの時間を決めるには

録画中に、30分単位で録画を止めるまでの時間を決めることができます（「決めた時間だけ録画する（クイックタイマー）」☛54ページ）。

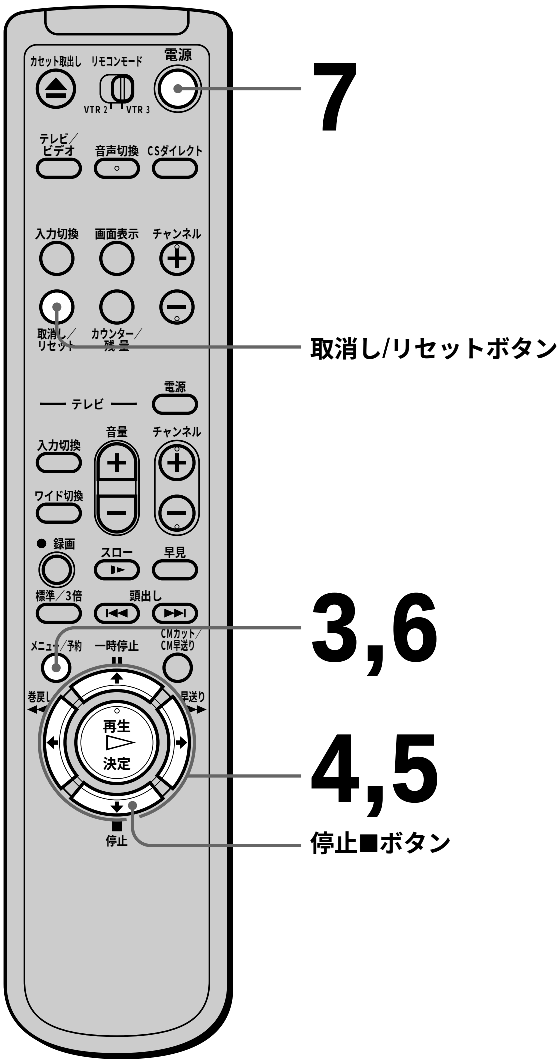
録画中に録画●ボタンを押します。
押すたびに30分ずつ時間が増えます。時間は30分後（0:30）から6時間後まで選べます。
途中で録画を止めるには、停止■ボタンを押します。

こんなときは

- **録画●ボタンを押すと、カセットが出てくる。**
  →カセットのツメが折れています。セロハンテープなどを貼ってツメの穴をふさいでください（☛64ページ）。
- **リモコンで操作できない。**
  →リモコンモードを確認してください（☛6ページ）。

予約する

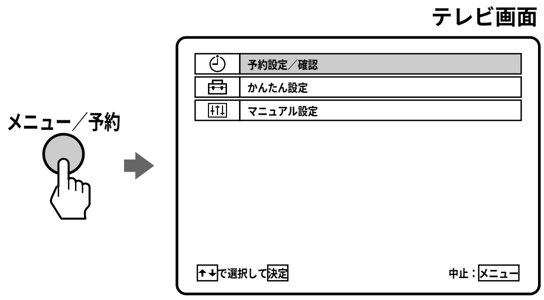
1か月先までの番組や、毎日または毎週の番組をタイマーで予約できます。それ以外に、かんたん予約ダイヤルを使った予約（☞52ページ）もできます。
合わせて8番組まで予約できます。



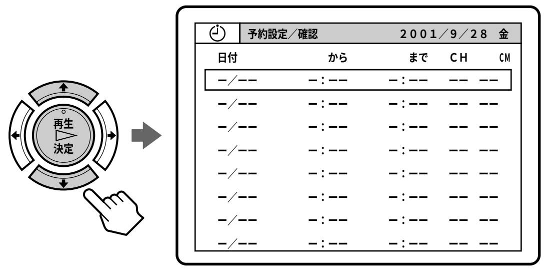
1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **カセットを入れる。**
ビデオの電源が自動的に入ります。

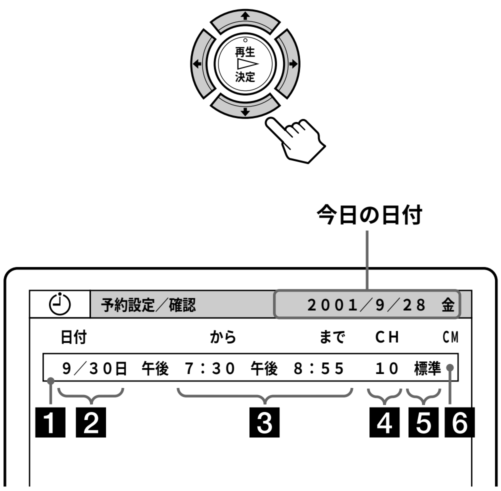
3 **メニュー/予約ボタンを押す。**



4 **↑/↓で「予約設定/確認」を選び、決定ボタンを押す。**



5 **↑/↓/←/→で日時とチャンネルを選ぶ。**



1 **↑/↓で予約を入れる行を選び、→を押す。**

2 **↑/↓で日付を選び、→を押す。**
毎日または毎週同じ番組を予約するときは、↓を押して選びます。

今日（9/28）→ 毎日 → 毎週月～土 → 毎週月～金 → 毎週土 →……→ 毎週日 → 1か月先の日（10/27）→………→ 今日（9/28）

- **間違えたときは**
←を押して前の項目に戻ります。
- **途中でやめるときは**
取消し/リセットボタンを押します。

3 **↑/↓で時刻を選び、→を押す。**

4 **↑/↓でチャンネルを選び、→を押す。**
↑を押すたびに以下のように切り換わります。

VHF/UHFチャンネル（CH1、CH3、…）→ 入力1

- **本機の入力端子につないだ機器を予約するには**
「入力1」を選びます。
- BS**チューナー内蔵テレビで受信した**BS**放送を予約するには**
「入力1」（テレビのBS出力とつないでいる本機の入力端子）を選びます。その後、テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、録画したいBSチャンネルをテレビで選びます。

5 **↑/↓で録画モード（標準/3倍）を選び、→を押す。**
長時間録画したいときは「3倍」にします。

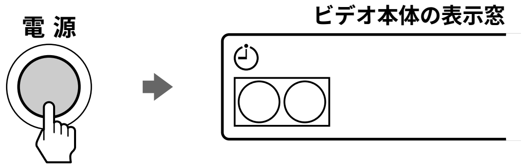
6 **↑/↓で**CM**カット（✂/表示なし）を選ぶ。**
二か国語放送またはモノラル放送の番組のCMをとばして録画したいときは「✂」にします（☞56ページ）。

7 **→を押す。**
選んだ行に予約が入ります。

8 **続けて予約するときは、手順1～7を繰り返す。**

6 **メニュー/予約ボタンを押す。**
メニューが消えます。

7 **電源スイッチを押して、ビデオの電源を切る。**
ビデオ本体の ⏲ 表示が点灯して表示窓が暗くなり、予約待機になります。



予約録画中に録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

予約待機中にビデオを使うには

電源スイッチを押して電源を入れます（⏲ 表示が消えます）。この状態でビデオが使えます。予約開始時刻になる前に、予約用のカセットを入れて、電源を切っておきます（⏲ 表示が点灯）。電源が入った状態では、予約録画できません。

ちょっと一言

- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのままで終了時刻を合わせます。終了時刻は自動的に次の日に設定されます。
- ビデオチャンネル＋/－ボタンなどを押して、録画するチャンネルを選ぶときは、「チャンネルリスト」の「表示チャンネル」の並び順で、VHF/UHFチャンネルが切り換わります。

ご注意

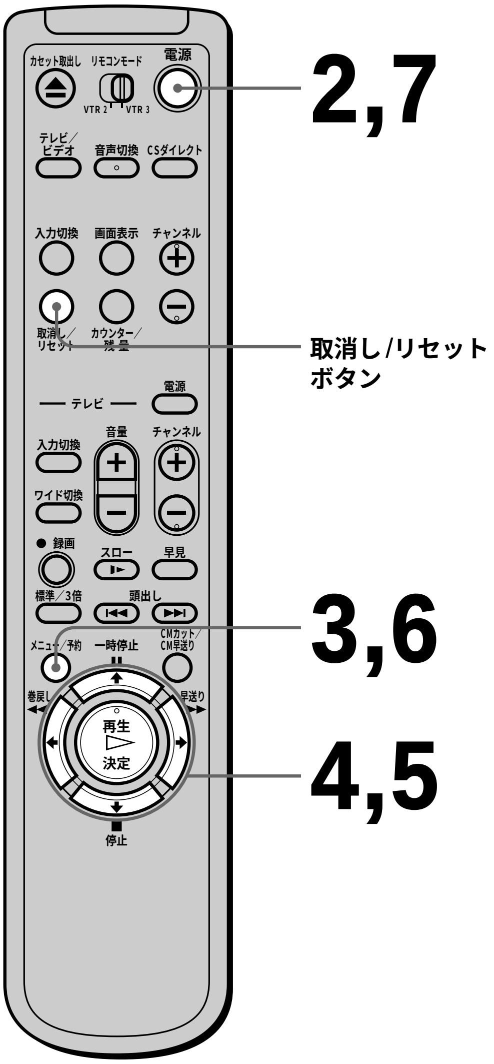
- BSチューナー内蔵テレビで受信したBS放送を予約した後で、テレビのBSチャンネルを変えたときは、予約開始時刻になる前に、テレビのチャンネルを予約したBS放送のチャンネルに戻してください。他のBSチャンネルになっていると、予約録画されるチャンネルが変わってしまいます。

こんなときは

- **手順7でビデオの電源を切ったあと、カセットが出てくる。**
→カセットのツメが折れています。セロハンテープなどを貼ってツメの穴をふさいでください（☞64ページ）。
- **予約したのに録画されていない。**
→ビデオの時計で日付と時刻を正しく合わせてください（☞27ページ）。
- **リモコンで操作できない。**
→リモコンモードを確認してください（☞6ページ）。

予約を確認する・変更する・取り消す

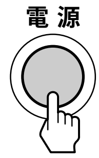
テレビ画面を使って、予約の確認、変更、取り消しができます。



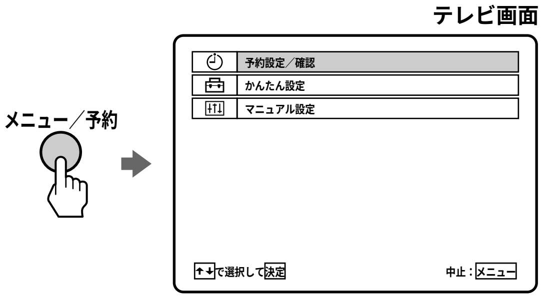
1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。**

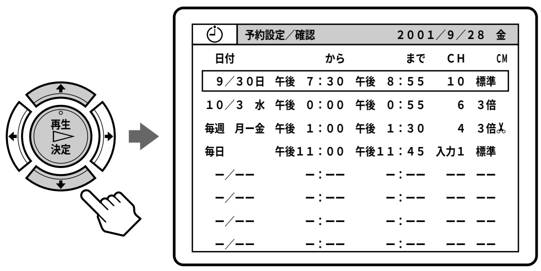
予約待機が解除されます。



3 **メニュー/予約ボタンを押す。**



4 **↑/↓で「予約設定/確認」を選び、決定ボタンを押す。**



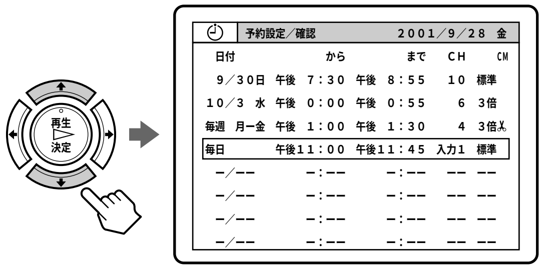
5

• 予約を確認するには

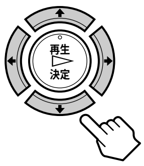
予約の内容がテレビ画面に表示されています。確認してください。

• 予約を変更するには

1 ↑/↓で変更する予約内容を選ぶ。

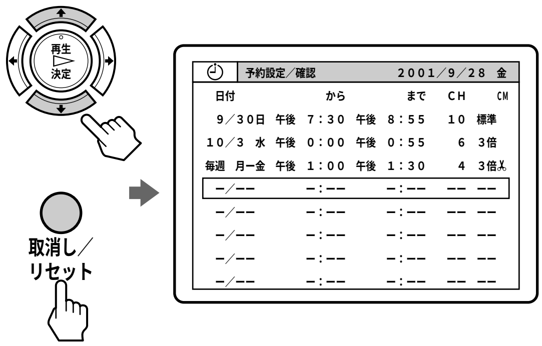


2 ←/→で変えたい項目を選び、↑/↓で変更する。



• 予約を取り消すには

↑/↓で取り消す内容を選び、取消し/リセットボタンを押す。



続けて別の予約を変更または取り消すときは、手順**5**を繰り返します。

6

メニュー/予約ボタンを押す。

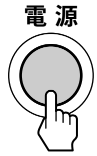
メニューが消えます。



7

電源スイッチを押して、ビデオの電源を切る。

予約待機に戻ります。ただし、予約をすべて取り消した場合は予約待機にはなりません。

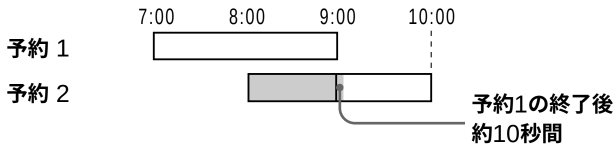


予約が重なったり連続したときは

　　で示した部分は録画しません。

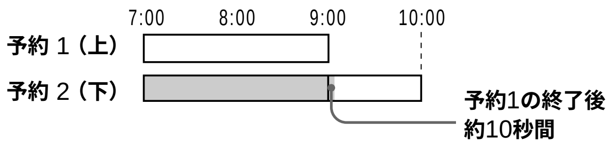
予約時間帯が重なっているとき

先に始まる予約が優先されます。



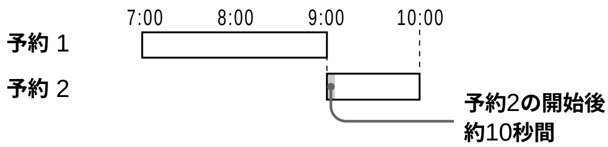
予約開始時刻が同じとき

「予約設定/確認」画面で、上に表示される予約が優先されます。



一方の予約の終了時刻と、もう一方の予約の開始時刻が同じとき

後から始まる予約の最初の約10秒間が録画されません。



ちょっと一言

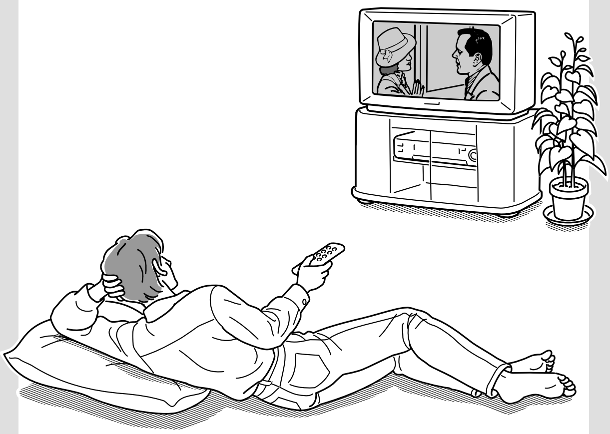
- 手順**5**の「予約を変更するには」の**2**でCMカットの設定（✂表示）を変更することができます。CMカットについて詳しくは、「CMをとばして録画する」（☛55ページ）をご覧ください。

こんなときは

- **リモコンで操作できない。**
  →リモコンモードを確認してください（☛6ページ）。

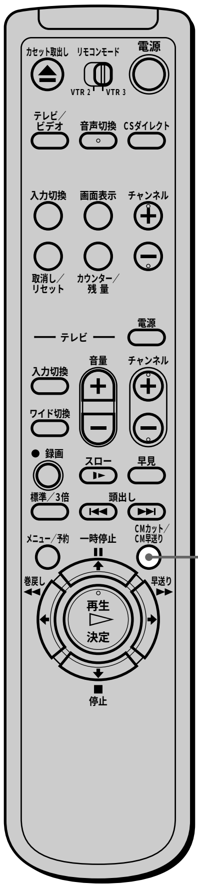
再生

ここでは、再生するときに使えるいろいろな機能について説明します。
スロー・2倍速などの変速再生ができるほか、録画した番組のとばしたい部分（CMなど）を早送りしたり、1本のテープに録画した各番組を頭出ししたりできます。
また、二か国語放送などの主音声・副音声の切り換え、テープカウンターやテープ残量の表示、画像と音声の調整、画質の補正など、再生に役立つ機能もあります。



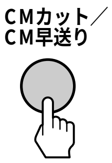
CMをとばして再生する（CM早送り）

録画したテープを見ているときに、CMなど、とばしたい部分を早送りすることができます。



再生中にとばしたい部分で、CMカット/CM早送りボタンを押す。

テープの30秒ぶんを早送り再生したあと、自動的に再生に戻ります。早送り中は、音声は出ません。



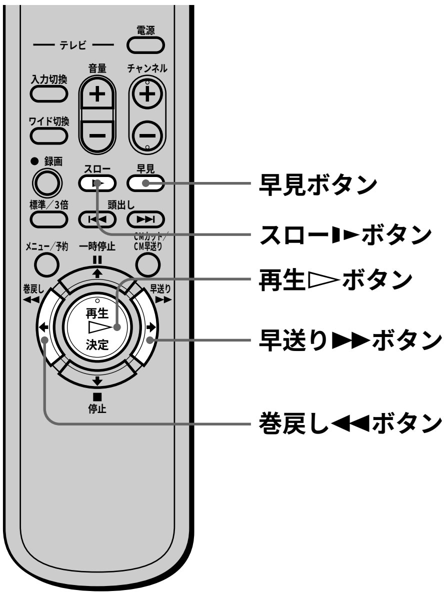
続けて1分以上早送りするには

CMカット/CM早送りボタンを2回以上押します。押すたびに30秒ずつ、最長2分間（4回押したぶん）まで早送りします。

速さを変えて見る

いろいろな速さで画像を見たり、1コマずつ送って見ることができます。

速さを変える



再生中に変えたい画像の速さのボタンを押す。

画像の速さ	操作
スロー	スローI▶ボタンを押す。
2倍速	早見ボタンを押す。
早送り再生*	• **連続早送り再生** 早送り▶▶ボタンを短く押す（リモコンのみ）。 • **押している間だけ早送り再生** 早送り▶▶ボタンを1秒以上押し続けると、押している間早送り再生する。
巻き戻し再生*	• **連続巻き戻し再生** 巻戻し◀◀ボタンを短く押す（リモコンのみ）。 • **押している間だけ巻き戻し再生** 巻戻し◀◀ボタンを1秒以上押し続けると、押している間巻き戻し再生する。

*リモコンの電池の消耗をおさえたいときは、連続早送り/巻き戻し再生をおすすめします。

音声を聞きながら早見再生するには

メニューの「各種設定2」で「音声付早見再生」を「入」にしておきます（☞34ページ）。再生中に早見ボタンを押します。1.5倍速の再生になり、音声が聞こえます。
ただし、音声付早見再生中の音声は、本来の音声・音調とは異なります。ステレオ放送の音声はモノラルになり、二か国語放送の音声は主音声になります。

ふつうの再生に戻すには

再生▷ボタンを押します。

ちょっと一言

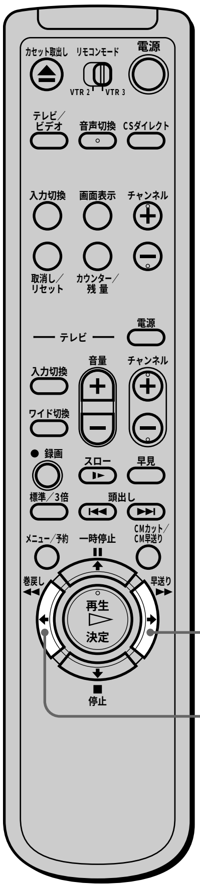
• スローで見ているときに、2分以上たつと自動的にふつうの再生になります。

ご注意

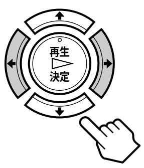
• 再生の速さを変えると、画像が乱れます。
• 音声付早見再生をすると、画像が乱れます。画像が縦ゆれするときは、早見再生中にビデオ本体のトラッキング＋/－ボタンを押して調整できます（☞51ページ）。このとき、画像がチラつくことがあります。

次のページにつづく

コマ送りで見る



再生一時停止中にリモコンの早送り▶▶または巻戻し◀◀ボタンを押す。
早送り方向は早送り▶▶ボタン、巻き戻し方向は巻戻し◀◀ボタンを押します。押し続けると連続してコマ送りします。

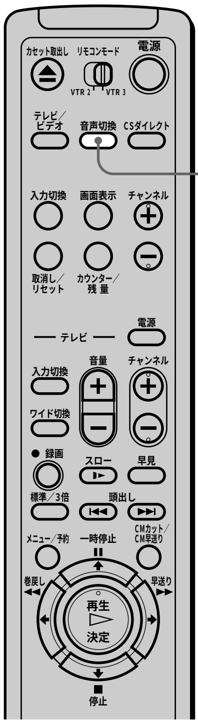


ご注意

- コマ送りすると、画像が乱れます。

二か国語放送などの音声を切り換える

二か国語放送などを録画したテープを再生するとき、主音声や副音声など聞きたい音声に切り換えることができます。ステレオ放送を録画したテープは、自動的にステレオで聞こえます。



再生中に音声切換ボタンを押す。
ボタンを押すたびに、画面に出る表示と聞こえる音声が次のように切り換わります。



画面に出る表示	聞こえる音声	
	二か国語放送	ステレオ放送
ステレオ*	主音声と副音声の混合	ステレオ
主/左*	主音声	左チャンネル
副/右*	副音声	右チャンネル
表示なし	主音声	モノラル

* ビデオ本体に「ステレオ」または「二重音声」表示が出ます。

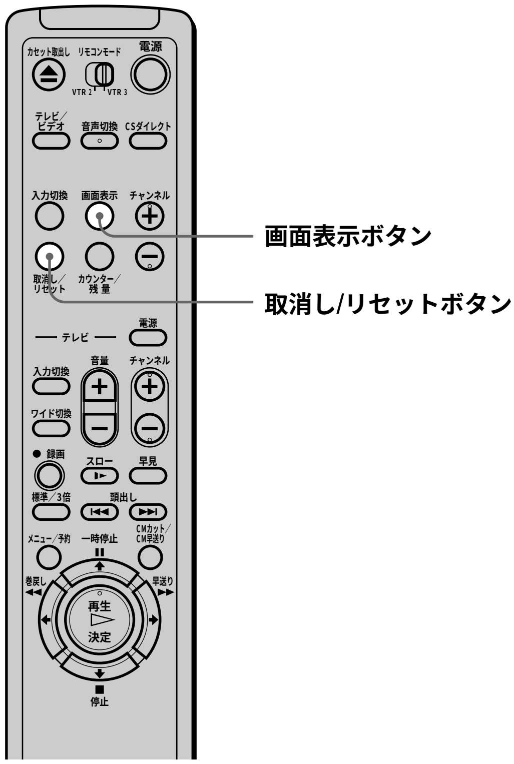
ちょっと一言
- 本機で受信している二か国語放送の音声も、音声切換ボタンで切り換えることができます。

ご注意
- 音声切換ボタンは、次のとき働きません。
  - モノラルまたは主音声だけで録画したテープを再生したとき（常にモノラルまたは主音声のみ）
  - ステレオ放送を受信しているとき
  - 本機の入力端子につないだ機器の音声を切り換えるとき（つないだ機器で切り換えてください）
  - メニューの「各種設定2」で「音声ミックス」を「入」にしたとき（☞34ページ）

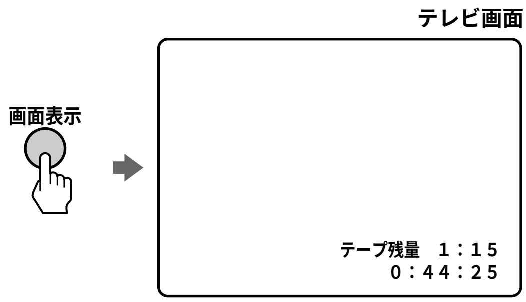
画面表示やテープ残量を見る

テープカウンターとテープ残量をテレビ画面で見たり、テープ残量を時間表示することができます。残量表示はテープの残りを知る目安としてお使いください。

画面表示を見る



画面表示ボタンを押す。
テープカウンターおよびテープ残量が出ます。
もう一度押すと、元の画面に戻ります。



再生

次のページにつづく

画面表示やテープ残量を見る（つづき）

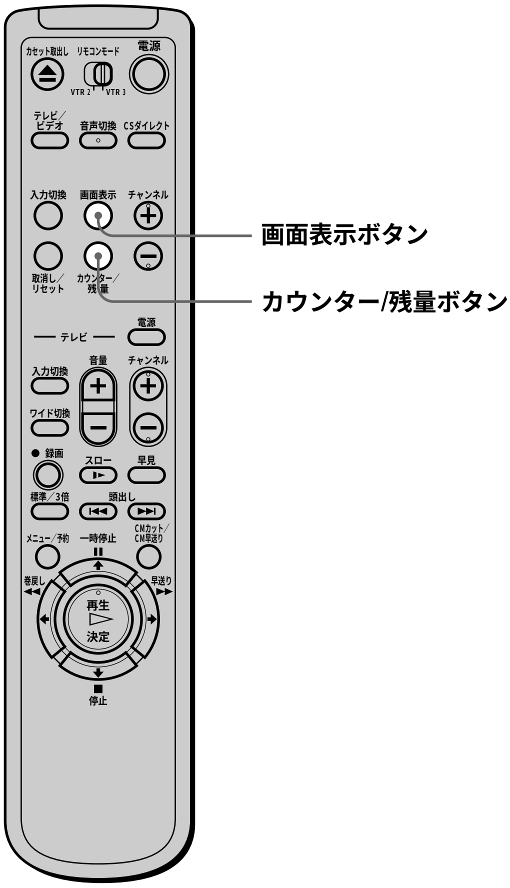
テープカウンターを「0:00:00」に戻すには

取消し/リセットボタンを押します。テープを入れ換えたときも「0:00:00」になります。ビデオ本体では「0H00M00S」表示になります。

ちょっと一言

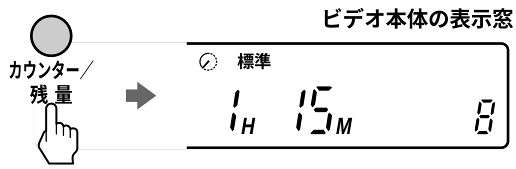
- 「再生」や「早送り」など操作時に自動的に出てくる走行表示を消したいときは、メニューの「各種設定1」で「自動画面表示」を「切」にしてください（☞33ページ）。

テープ残量を時間表示する



カウンター/残量ボタンを押す。

もう1度押すとカウンター表示に戻ります。



ちょっと一言

- テープ残量を時間表示にするには、あらかじめメニューの「各種設定2」の「テープ残量切りかえ」（☞34ページ）でテープの長さを選んでください。
- テープ残量を時間表示しているとき、画面表示ボタンを押すと、テレビ画面でも表示を見ることができます。

ご注意

- VHS-Cカセットアダプターを使用した場合、残量表示は正しく表示されません。
- テープの種類によっては、残量が正しく表示されないことがあります。
- テープ残量の時間表示が出ないときは、しばらく再生などの操作をしてください。

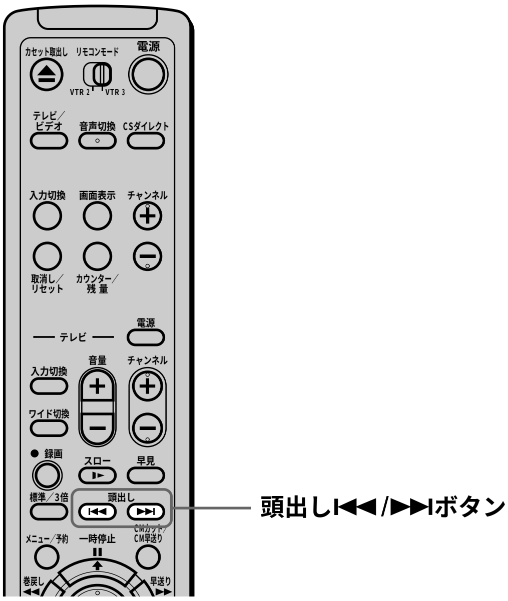
番組を頭出しする

番組の頭出しや、テープの頭まで巻き戻して自動的に再生することができます。

番組の頭から再生する

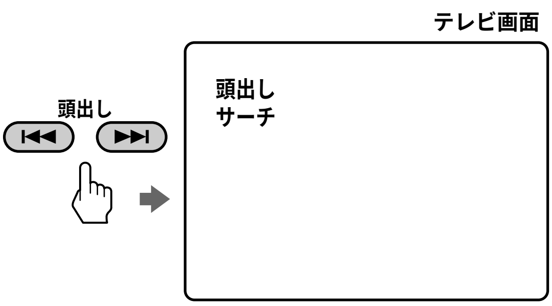
いくつかの番組を1本のテープに録画したときは、前後の番組の頭出しができます。
頭出し信号は次のときに自動的に付きます。

- 録画●ボタンを押したとき
- 録画一時停止中にチャンネルを変えて、再び録画を始めたとき
- 予約録画が始まったとき



頭出し|◀◀/▶▶|ボタンを押す。

▶▶|で次の番組を、|◀◀で前の番組を頭出しして再生します。

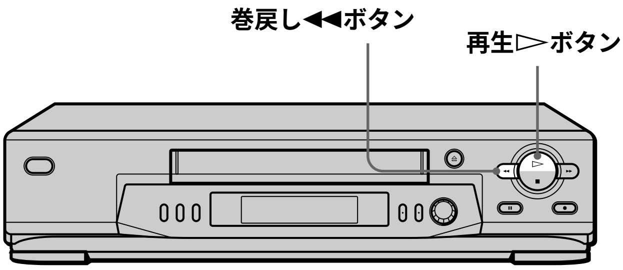


ちょっと一言

- 「頭出し」表示が画面に出ないときは、メニューの「各種設定1」で「自動画面表示」を「入」にしてください（☞33ページ）。
- 他機で録画した頭出し信号の付いたテープも、本機で頭出しできます。

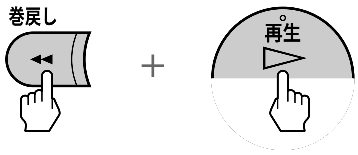
テープの頭から自動的に再生する

（オートプレイ）



停止中にビデオ本体の巻戻し◀◀ボタンを押しながら、再生▷ボタンを押す。

テープの頭まで巻き戻り、自動的に再生が始まります。



予約録画した番組を頭出しする（ダイヤルサーチ）

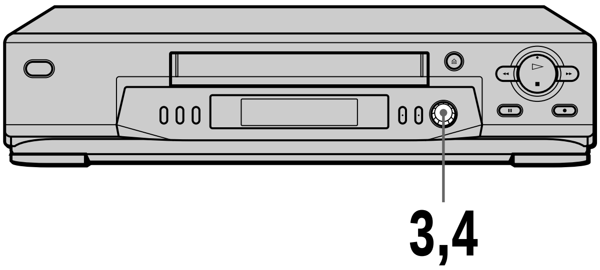
ビデオ本体のダイヤル予約録画つまみを使って、予約録画した番組の頭出しができます。留守中に予約録画した番組を、帰ってきてすぐに見たいときに便利です。
ダイヤルサーチで検索できるのは、直前に録画した最大9番組までです。ダイヤルサーチを使うと、次のようなことができます。

- 電源を入れずに、ダイヤルを回して押すだけで番組の頭出しができる
- 録画済みの番組数がビデオ本体の表示窓に点滅し、番組をいくつ録画したかがわかる

ビデオ本体の表示窓に録画済み番組数が点滅しているときは、ビデオの電源を入れたり、カセットを取り出したりしないでください。ダイヤルサーチモードが解除されます。

ダイヤルサーチを使うには

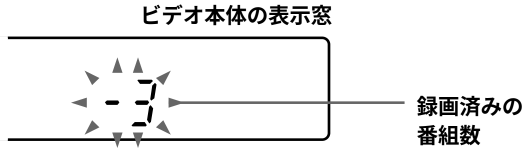
録画の前に、メニューの「各種設定2」の「ダイヤルサーチ」を「入」にしておきます（☞34ページ）。お買い上げ時の設定では、「切」になっています。



1 録画後に、ビデオ本体の表示窓に録画済み番組数が点滅しているのを確認する。

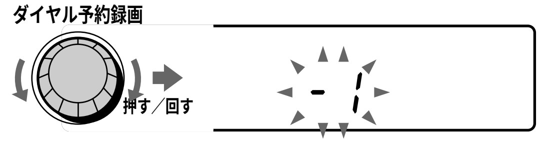
このとき、ビデオの電源は入れないでください。ダイヤルサーチが使えなくなります。

3番組録画したときは、「–3」が点滅します。



2 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

3 ダイヤル予約録画つまみを回して、見たい番組の番号を選ぶ。



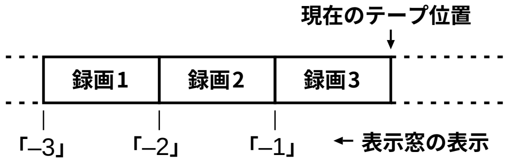
右へ回すと、日時の古い番組から新しい番組の順に表示が変わります。

「–(録画済み番組数：最大9)」→ … →「–2」→「–1」

左へ回すと、日時の新しい番組から古い番組の順に表示が変わります。

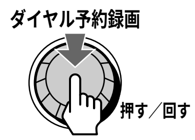
「–1」→「–2」→ … →「–(録画済み番組数：最大9)」

たとえば、留守中に3番組を録画したとき、「–3」を選ぶと、最初に録画した番組が選ばれます。「–1」を選ぶと、最後に録画した番組が選ばれます。



4 ダイヤル予約録画つまみを押す。

ビデオの電源が自動的に入り、選んだ番組を頭出しして、再生が始まります。

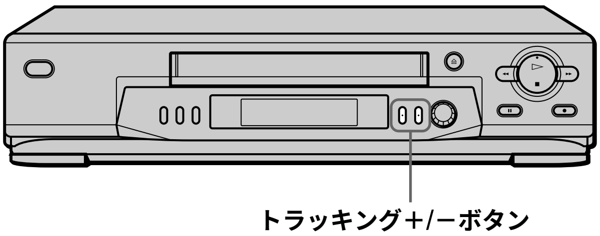


ご注意

- ビデオ本体の表示窓に録画済み番組数が点滅しているときに、次のようなことをすると、ダイヤルサーチモードは解除されます。
  - 本体の電源を入れる
  - 電源プラグをコンセントからはずす
- ダイヤルサーチが使えるのは、ビデオ本体の表示窓に番組数が点滅しているときだけです。一度番組の頭出しをすると、ダイヤルサーチモードは解除されます。
- ビデオ本体の表示窓に録画済み番組数が点滅しているときは、ダイヤル予約録画つまみで予約の設定はできません。

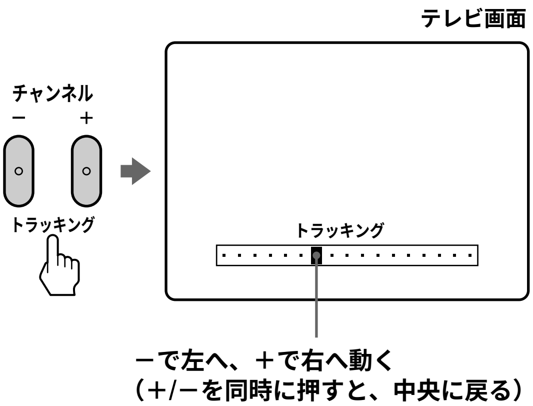
画像と音声を調整する（トラッキング）

再生画像が乱れたり雑音が出るときは、手動でトラッキングを調整してください。通常はトラッキング自動調整が働いて、きれいな画像で見ることができます。



再生中にトラッキング＋/－ボタンを押して調整する。

ビデオ本体の⊠表示が点灯します。



トラッキングを自動調整に戻すには

カセットを入れ直し、再生します。ビデオ本体の⊠表示が点滅し、調整が終わると消えます。

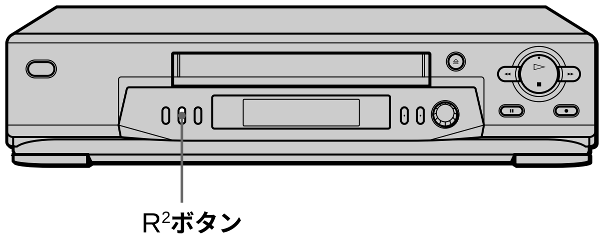
ご注意

- 他のビデオで録画したカセットや録画状態の悪いカセットでは、チラつきが充分に消えないことがあります。
- ハイファイ音声がノーマル音声に変わることがあります。
- スロー再生や音声付早見再生中のチラつきや、再生一時停止中の縦ゆれは、変速再生や一時停止中にトラッキング＋/－ボタンを押して調整してください。このとき、テレビの画面にはトラッキング表示は出ません。

画質を補正する（R^2）

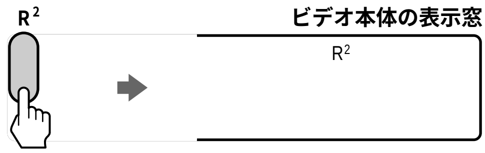
再生画像の画質を補正し、本来の画質に近づけることができます。

R^2 はReality Regenerator（リアリティー・リジェネレーター）の略です。



R^2ボタンを押す。

ビデオ本体のR^2表示が点灯します。



通常の再生画質に戻すには

R^2ボタンを押し、ビデオ本体のR^2表示を消灯します。

録画・予約

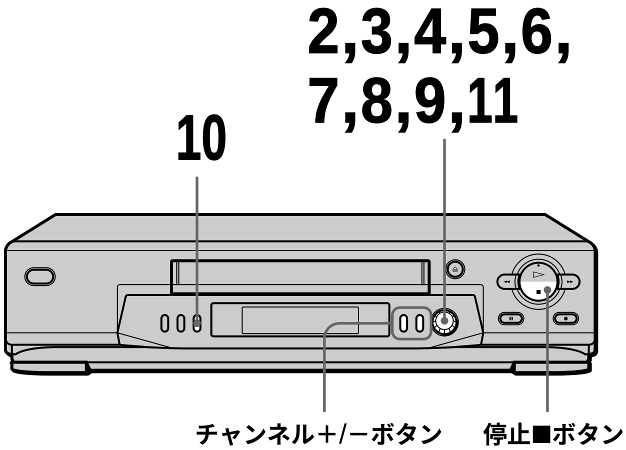
ここでは、次のような録画と予約について説明します。

- テレビの電源を入れずに、ダイヤル予約録画つまみを操作するだけで設定できる予約。
- 何時間後に録画を止めるかを決めるクイックタイマー。
- CMをとばす録画。
- 別売りのチューナーとのシンクロ録画。



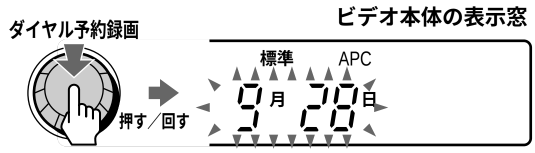
かんたん予約 ダイヤルで予約する

テレビの電源を入れなくても、ビデオ本体のダイヤル予約録画つまみで、1か月先までの番組を予約できます。
他の予約と合わせて、8番組まで予約できます。



1 **カセットを入れる。**
ビデオの電源が自動的に入ります。

2 **ダイヤル予約録画つまみを押す。**
今日の日付が点滅します。



3 **ダイヤル予約録画つまみを回して、日付を選ぶ。**
右方向に回すたびに、日付が1日ずつ進みます。

今日（9/28）→ 9/29 →………→ 1か月先の日（10/27）→ 今日（9/28）

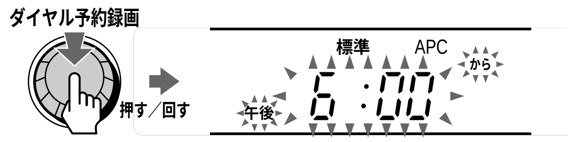
左方向に回すたびに、日付が1か月先の日から1日ずつ戻ります。

今日（9/28）→ 1か月先の日（10/27）→ 10/26 →………→ 今日（9/28）



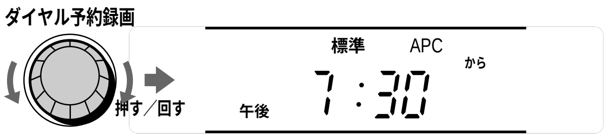
4 ダイヤル予約録画つまみを押す。

現在の時刻から一番近い先の15分単位の時刻が点滅します。
たとえば、5時48分のときは、「6：00」が表示されます。



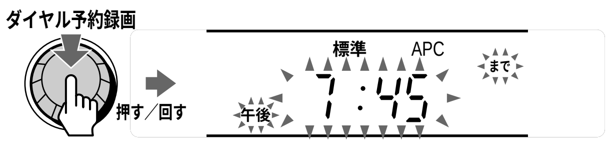
5 ダイヤル予約録画つまみを回して、録画開始時刻を選ぶ。

時刻は15分単位で変わります。
ビデオ本体のチャンネル＋/－ボタンを押すと、1分きざみで時刻を変えられます。



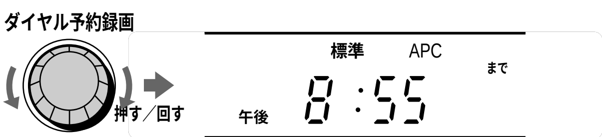
6 ダイヤル予約録画つまみを押す。

設定した録画開始時刻から一番近い先の15分単位の時刻が点滅します。



7 ダイヤル予約録画つまみを回して、録画終了時刻を選ぶ。

時刻は15分単位で変わります。
ビデオ本体のチャンネル＋/－ボタンを押すと、1分きざみで時刻を変えられます。



8 ダイヤル予約録画つまみを押す。

現在のチャンネルが点滅します。

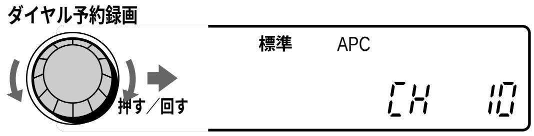


9 ダイヤル予約録画つまみを回して、チャンネルを選ぶ。

右方向に回すたびに、以下のように切り換わります。

VHF/UHFチャンネル（1、3、…）→ L1

左方向に回すと、逆の順番で切り換わります。



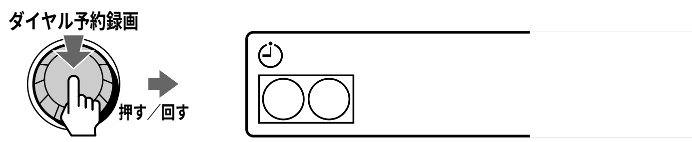
- **本機の入力端子につないだ機器を予約するには**
  「L1」を選びます。
- **BSチューナー内蔵テレビで受信したBS放送を予約するには**
  「L1」（テレビのBS出力とつないでいる本機の入力端子）を選びます。その後、テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、録画したいBSチャンネルをテレビで選びます。

10 標準/3倍ボタンを押して、録画モード（標準または3倍）を選ぶ。



11 ダイヤル予約録画つまみを押す。

「ピーッ」と鳴って、ビデオ本体に予約内容（日付、録画開始/終了時刻、チャンネル番号）が確認のため表示されます。
その後、◷ 表示が点灯して表示窓が暗くなり、予約待機になります。



次のページにつづく

かんたん予約ダイヤルで予約する（つづき）

1つ前の手順に戻るには

設定中にビデオ本体のチャンネル＋/ーボタンを同時に押します。

設定の途中でキャンセルするには

停止■ボタンを押します。

予約録画中に録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

予約を確認・変更・取り消すには

「予約を確認する・変更する・取り消す」（☞42ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

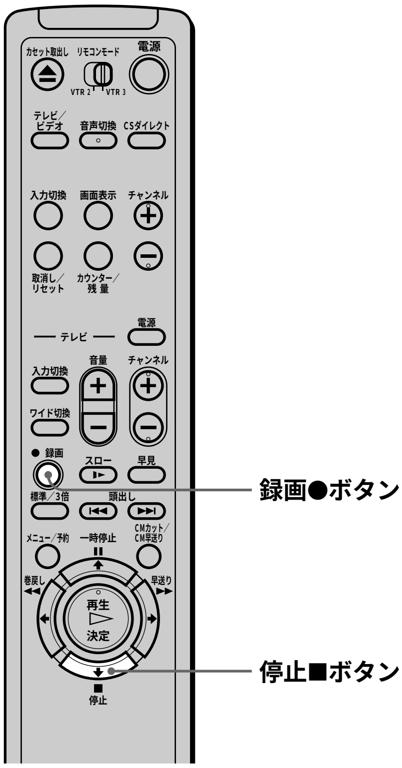
- CMカットを設定して予約できます（☞56ページ）。
- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのままで終了時刻を合わせます。終了時刻は自動的に次の日に設定されます。
- ビデオチャンネル＋/ーボタンなどを押して、録画するチャンネルを選ぶときは、「チャンネルリスト」の「表示チャンネル」の並び順で、VHF/UHFチャンネルが切り換わります。

ご注意

- 設定中に3分以上ダイヤル予約録画つまみを操作しないと、設定は取り消されます。
- 時計を合わせていないと、ダイヤル予約録画つまみを押したときに「ピピピ」と鳴ります。時計を正しく合わせてください（☞27ページ）。
- すでに8番組が予約されていると、ダイヤル予約録画つまみを押したときに、ビデオ本体に「FULL」と出ます。
- 次のときは、ダイヤル予約録画つまみで予約することはできません。
  - メニューの「各種設定2」で「ダイヤルサーチ」を「入」にしている場合（ダイヤルサーチモード）で、ビデオ本体の表示窓に録画した番組数が点滅しているとき（☞34ページ）
- BSチューナー内蔵テレビで受信したBS放送を予約した後で、テレビのBSチャンネルを変えたときは、予約開始時刻になる前に、テレビのチャンネルを予約したBS放送のチャンネルに戻してください。他のBSチャンネルになっていると、予約録画されるチャンネルが変わってしまいます。

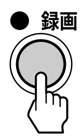
決めた時間だけ録画する（クイックタイマー）

何時間後に録画を止めるかを決められます。急用で出かけるときや、眠くなったときに便利です。



録画中に録画●ボタンを繰り返し押して、録画を止めるまでの時間を選ぶ。

ビデオ本体の ⏲ 表示が点灯します。
押すたびに、30分ずつ時間が増えます。時間は30分後（0:30）から6時間後（6:00）まで選べます。



1時間30分後に録画を止めたいとき



指定した時間がたつと、自動的に録画が止まり電源が切れます。

録画を止めるまでの時間を変えるには

録画●ボタンを繰り返し押して、その時点から録画を止めるまでの時間を選びます。

クイックタイマーの途中で録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

設定した時間を取り消すには

録画●ボタンを繰り返し押して、ビデオ本体の表示窓にテープカウンターを出します。

CMをとばして録画する（CMカット）

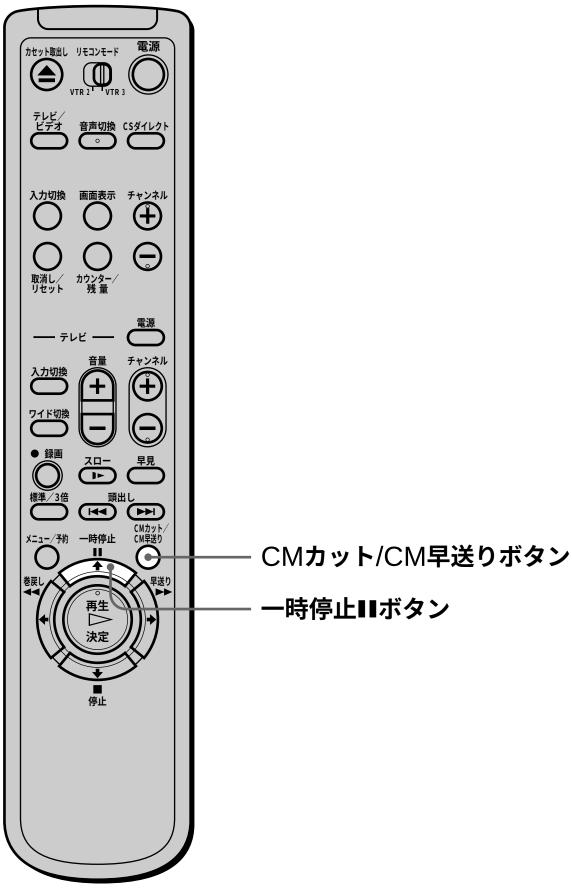
CMカットでは、ステレオ放送の部分をとばして録画することができます。ほとんどのCMはステレオ放送です。したがって二か国語放送またはモノラル放送の番組を録画するときのみ、ステレオ放送のCMを自動的にとばすことができます。

番組（二か国語/モノラル）	CM（ステレオ）	**番組（二か国語/モノラル）**
録画	**一時停止**	**録画**

⇒：**放送の流れ**

CM**カットができるのは**
- 二か国語放送の番組
- モノラル放送の番組

CM**カットができないのは**
- ステレオ放送の番組
- 本機の入力端子につないだ機器からの録画



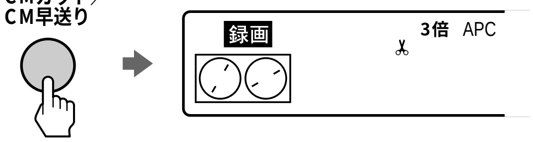
次のページにつづく

CMをとばして録画する（つづき）

録画中にCMカット/CM早送りボタンを押す。

ビデオ本体の✂表示が点灯します。
CM（ステレオ放送）が始まると自動的に録画を一時停止します。番組（二か国語放送またはモノラル放送）が始まると録画を再開します。

ビデオ本体の表示窓



CMカットをやめるには

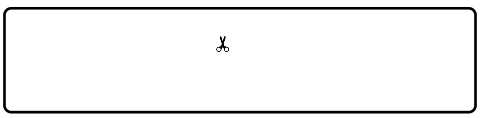
CMカット/CM早送りボタンを押し、ビデオ本体の✂表示を消灯します。

CMカットを設定して予約するには

まず、予約する番組が二か国語放送または、モノラル放送であることを確認します。

ー ビデオ本体のダイヤル予約録画つまみで予約するときは、「かんたん予約ダイヤルで予約する」（☞52ページ）の手順**11**で、ダイヤル予約録画つまみを押す前に、CMカット/CM早送りボタンを押します。ビデオ本体に✂表示が出ます。

ビデオ本体の表示窓



ー タイマーで予約するときは、「予約する」（☞40ページ）の手順で設定してください。

ちょっと一言

- 予約した番組に、CMカットを設定することができます（☞43ページ）。
- 録画を始める前に、CMカット/CM早送りボタンを押して、CMカットを設定することができます。ただし、チャンネルを変えると、CMカットは解除されます。
- 二か国語放送およびステレオ放送は、新聞や雑誌などのテレビ番組表で調べることができます。

ご注意

- 電波の弱い地域では、CMカットが正しく働かないことがあります。
- ステレオ放送を行っていない放送局の番組はCMカットをすることができません。
- CMカットを設定しても、モノラル放送のCMは録画されます。
- CMカットを設定して録画しているとき、一時停止❚❚ボタンを押すと、CMカットは解除されます。
- CMの放送中にCMカットを設定した録画が始まると、その回のCMは録画されます。次の回のCMから、CMカットが働きます。
- CMカットを設定して録画しているとき、CMが5分以上続くと、CMカットは解除され録画が始まります。次の回のCMからは、CMカットは働きません。

別売りのチューナーから録画する

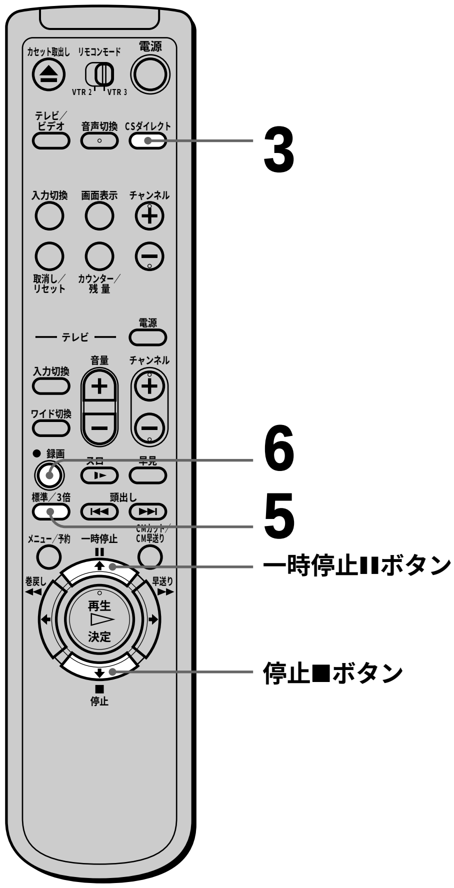
別売りのチューナー（BSデジタルチューナー、デジタルCSチューナー、CATVチューナーなど）をつなぐと、チューナーからの番組を録画できます。番組予約機能の付いたチューナーと組み合わせると、予約録画もできます。

ご注意

- 録画防止機能（コピーガード）がかかっている番組は録画できません。詳しくは、チューナーに付属の取扱説明書をご覧ください。

チューナーからの番組を録画する

本機につないだチューナーから、番組を録画することができます。



1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **カセットを入れる。**
ビデオの電源が自動的に入ります。

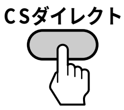
次のページにつづく

別売りのチューナーから録画する（つづき）

3
- **ソニーのデジタルCSチューナーをつないでいる場合**

  CSダイレクトボタンを押す。

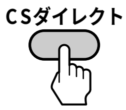
  ビデオの入力が「L1」に切り換わり、デジタルCSチューナーの電源が入ります（CSダイレクト）。



- **他のチューナーをつないでいる場合**

  1 **CSダイレクトボタンを押す。**

  ビデオの入力が「L1」に切り換わります。



  2 **チューナーの電源を入れる。**

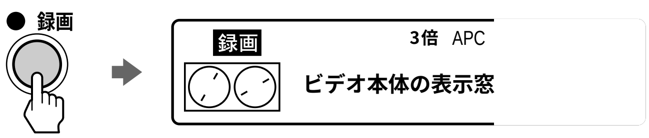
4 **つないだチューナーで番組を選ぶ。**

5 **標準/3倍ボタンを押して、録画モード（標準/3倍）を選ぶ。**



6 **録画●ボタンを押す。**

ビデオ本体の「録画」表示が点灯して、録画が始まります。



録画中にテレビで裏番組を見るには

テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、テレビのチャンネルを選びます。録画に影響はありません。

録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

録画を一時停止するには

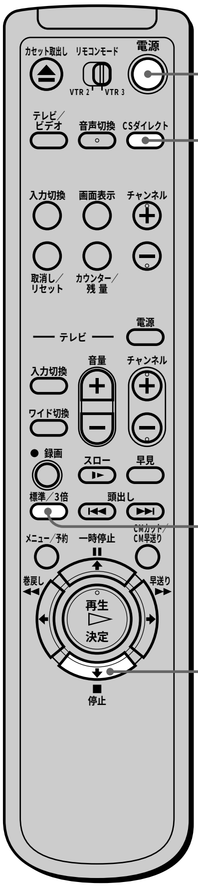
一時停止❚❚ボタンを押します。録画一時停止が5分以上続くと自動的に停止します。

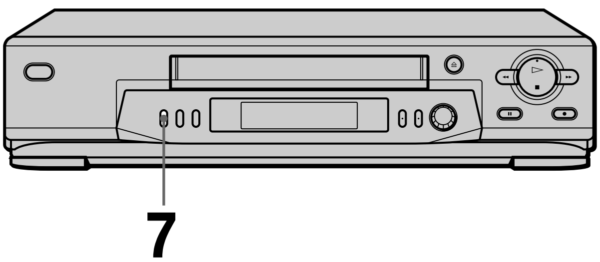
ご注意

- チューナーからの番組を録画中は、チューナーの電源を入れたままにしておいてください。

チューナーからの番組を予約録画する（シンクロ録画）

本機につないだチューナーに、番組予約機能があるときは、チューナーの電源と連動させて予約録画ができます。予約開始時刻にチューナーの電源が入ると、本機が感知し、自動的にビデオ入力「L1」の録画が始まります。

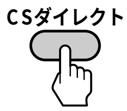




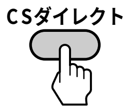
1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。**

2 **カセットを入れる。**
ビデオの電源が自動的に入ります。

3
- **ソニーのデジタルCSチューナーをつないでいる場合**
  CSダイレクトボタンを押す。
  ビデオの入力が「L1」に切り換わり、デジタルCSチューナーの電源が入ります（CSダイレクト）。



- **他のチューナーをつないでいる場合**
  1 **CSダイレクトボタンを押す。**
  ビデオの入力が「L1」に切り換わります。



  2 **チューナーの電源を入れる。**

4 **つないだチューナーで番組予約をする。**

5 **チューナーの電源を切る。**

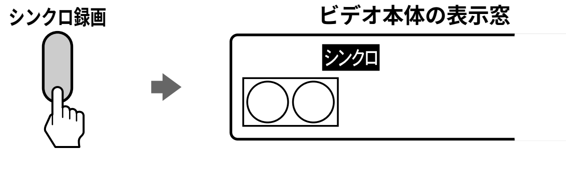
6 **標準/3倍ボタンを押して、録画モード（標準/3倍）を選ぶ。**



次のページにつづく

別売りのチューナーから録画する（つづき）

7 **シンクロ録画ボタンを2秒以上押す。**
ビデオ本体の「シンクロ」表示が点灯して表示窓が暗くなり、シンクロ録画予約待機になります。



シンクロ録画中に録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

シンクロ録画予約待機を取り消すには

シンクロ録画ボタンを押して、ビデオ本体の「シンクロ」表示を消灯します。（録画が終わっても、シンクロ録画予約待機は解除されません。）

シンクロ録画予約待機中にビデオを使うには

電源スイッチを押して電源を入れ、ビデオ本体の「シンクロ」表示を消灯させます。この状態でビデオが使えます。
予約開始時刻になる前に、予約用のカセットを入れて、シンクロ録画ボタンを2秒以上押します（「シンクロ」表示が点灯）。電源が入った状態では、予約録画できません。

シンクロ録画予約待機中につないだチューナーを使うには

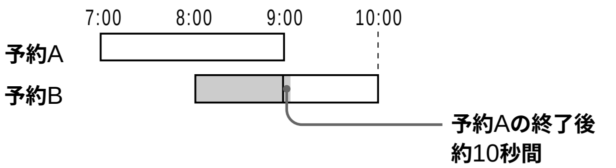
シンクロ録画ボタンを押して、ビデオ本体の「シンクロ」表示を消灯させます。この状態でチューナーが使えます。「シンクロ」表示が点灯中に、チューナーの電源を入れると、録画が始まってしまいます。
予約開始時刻になる前に、チューナーの電源を切り、シンクロ録画ボタンを2秒以上押します（「シンクロ」表示が点灯）。

シンクロ録画とビデオ本体の予約が重なったり連続したときは

先に始まる予約が優先されます。
　　　で示した部分は録画しません。

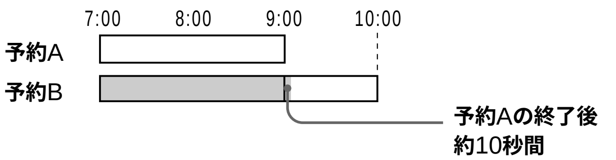
シンクロ録画の予約時間にビデオ本体の予約が重なっているとき

先に始まる予約の録画が終わってから、次の予約が録画されます。

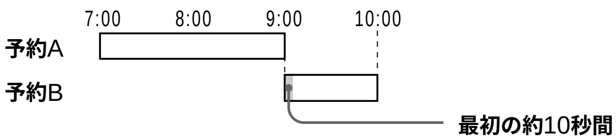


予約開始時刻が同じとき

先に信号を受けた予約が録画されます。



シンクロ録画の終了時刻と、ビデオ本体の予約の開始時刻が同じとき

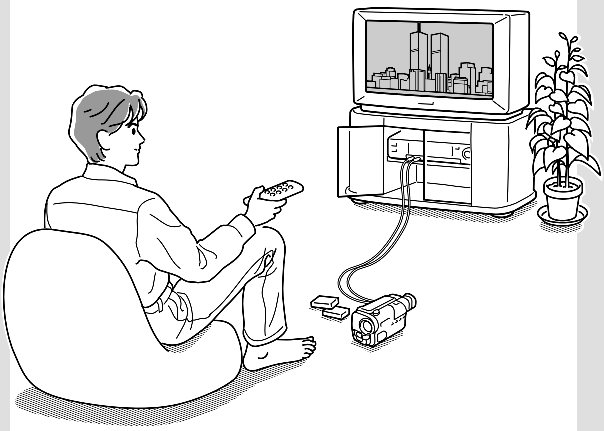


ご注意

- ビデオマウス付チューナーをつないだ場合、本機のシンクロ録画を使うときは、ビデオマウスを使わないでください。
- シンクロ録画予約待機中は、ジャストクロックは働きません。
- ビデオ本体の「シンクロ」表示が点灯中に、つないだチューナーの電源を入れると、録画が始まってしまいます。
- シンクロ録画予約待機中またはシンクロ録画中に、メニューの設定の変更はできません。

ダビング・編集

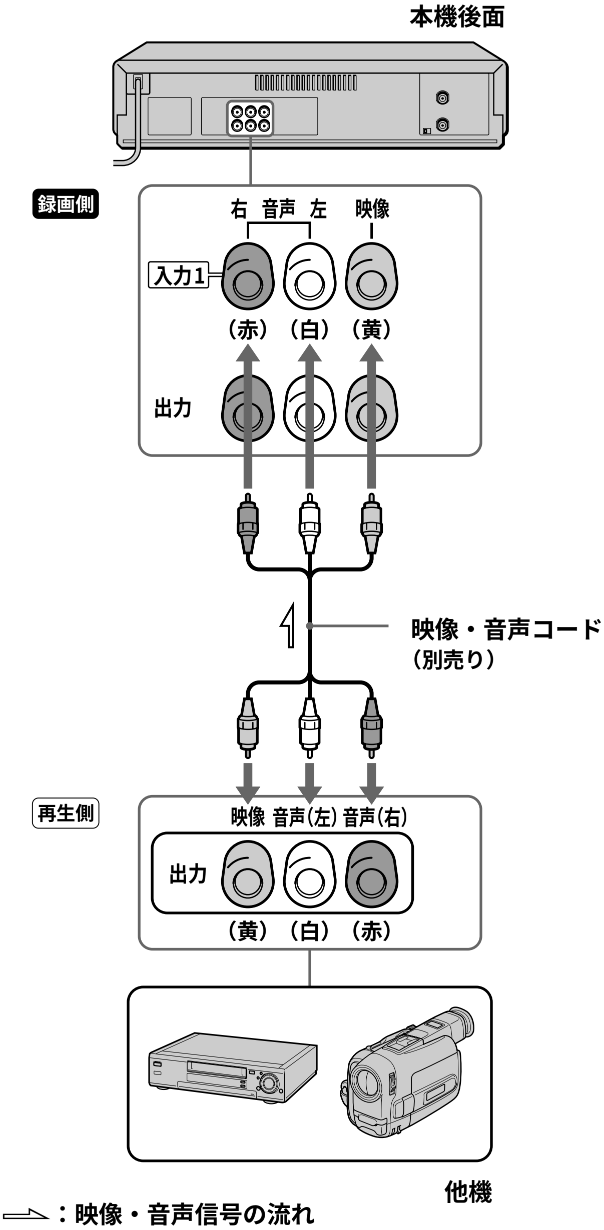
ここでは、本機に他のビデオデッキやビデオカメラをつないで行う操作について説明します。テープをそのままダビングしたり、必要なところをつないで編集したりできます。
以下の機器の接続は（　）内のページをご覧ください。
- BSチューナー内蔵テレビ・BSチューナー（☞13ページ）
- ケーブルテレビ（CATV）（☞24ページ）
- デジタルBSやCSチューナー（☞25ページ）



ビデオ機器をつなぐ

テレビを録画側の機器につなぐと録画される画像が見られます。

本機で録画するとき



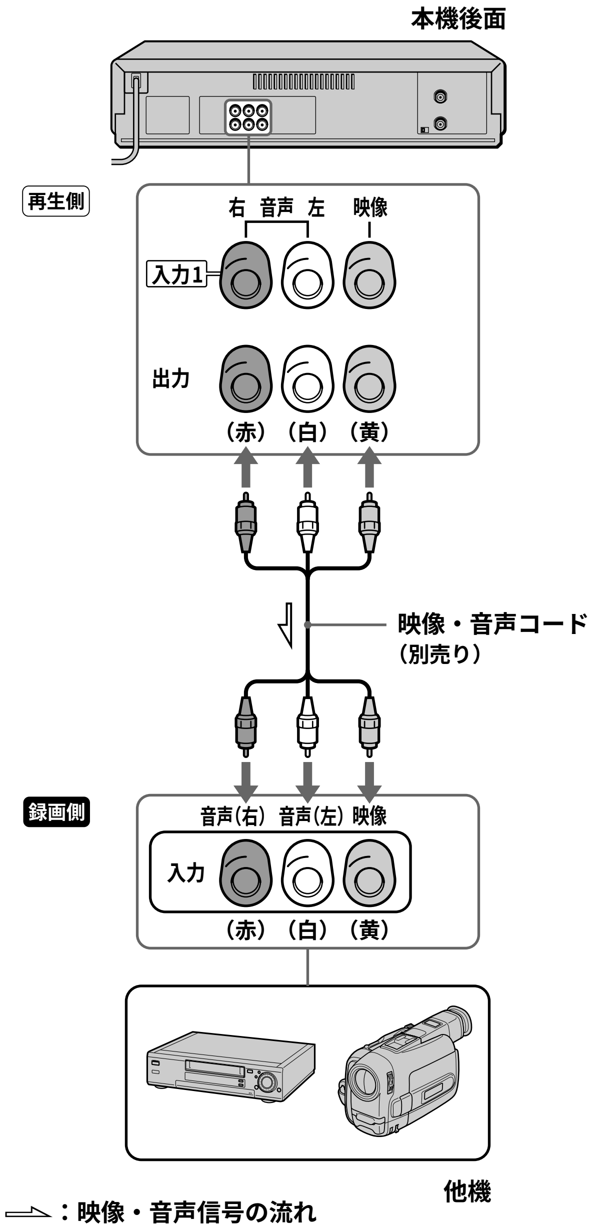
⇀：映像・音声信号の流れ

ご注意
- 本機の出力端子を他機の入力端子へつないだままま、その機器の出力端子を本機の入力端子へつながないでください。ブーンという音が出ることがあります。

録画・予約
ダビング・編集

次のページにつづく

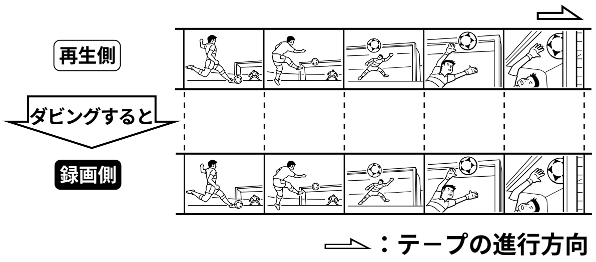
本機で再生するとき



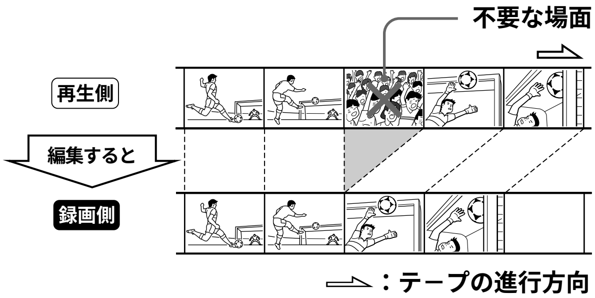
テープをダビング・編集する

テープの内容をそのままダビングしたり、好きな場面だけ編集することができます。つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

途中で止めずにそのままダビングするとき



好きな場面だけ編集するとき



1 **テレビの電源を入れてから、テレビの入力を録画側の機器に切り換える。**

2 録画側 再生側

両方のビデオデッキにカセットを入れる。

3 再生側

画面表示を消す。

画面表示を出したままにしておくと、画面表示もいっしょに録画されます。
本機が再生側のときは、メニューの「各種設定1」の「自動画面表示」を「切」にします
(☛33ページ)。

4 再生側

二か国語放送などのテープからダビングするときは、録音したい音声を選ぶ。

本機が再生側のときは、あらかじめ再生し、音声切換ボタンを押して選びます。
音声切換ボタンが再生側の機器にないときは、この手順をとばします。

5 録画側

再生側の機器をつないでいる入力（「入力1」、「入力2」など）に切り換える。

本機が録画側のときは、（ビデオ）チャンネル+/−ボタンを押して、ビデオ本体の表示窓に「L1」を出します。



6 録画側

録画モードを選ぶ。

本機が録画側のときは、標準/3倍ボタンを押して選びます。

7 録画側

録画一時停止にする。

再生側

再生一時停止にする。

8 録画側 再生側

両方の一時停止を解除する。

録画が始まります。

9 **好きな場面だけ編集するとき**

録画側

画像を見ながら、不要な場面で録画一時停止にする。

再生側

録画を再開したい場面の直前で再生一時停止にする。

手順**8**と**9**を繰り返して、好きな場面だけ編集します。

10 録画側 再生側

録画が終わったら、両方の停止ボタンを押す。

ご注意

- 編集したテープを再生すると、場面のつなぎ目で画像が乱れることがあります。

その他

ここでは、本機をご使用になる上でのご注意や、本機が正常に動かないときに解決する方法などについて説明します。
また、各部のなまえや索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。



使えるテープと再生・録画方式について

本機はVHS方式です。VHSテープも、S-VHSテープも使えますが、S-VHS方式で録画することはできません。

再生について

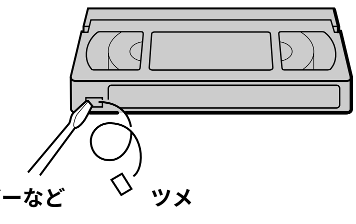
録画済みテープの記録方式（S-VHS/VHS）と録画モード（標準/3倍）を自動判別して再生します。
S-VHS方式で録画したテープも再生できますが、S-VHS本来の解像度は得られません（簡易再生)。

ご注意
- 日本と違うカラーテレビ方式の外国製ビデオソフトは再生できません。
- S-VHS方式で録画したテープをスローなど特殊再生すると画像が乱れることがあります。

録画について

VHSテープもS-VHSテープもVHS方式で録画されます。

ちょっと一言
- 録画内容を消したくないときは、ツメを折って取ります。再び録画するときは、セロハンテープなどでふさいでください。



ご注意
- 本機の3倍モードで録画したテープは、標準モード専用のVHSビデオデッキでは再生できません。
- 3倍モード付きのVHSビデオデッキでも、他機では再生時にノイズが出ることがあります。

使用上のご注意

ヘッドのお手入れ–きれいな画像にするために

次のような症状が出たら、ヘッドが汚れています。すぐに別売りの乾式クリーニングカセット（T-25CLD、T-25CLDRなど）で、ヘッドを連続1分間クリーニングしてください。クリーニングカセットは、お買い上げ店やお近くのソニーショップでお求めください。

- 画像がザラついたり、不鮮明になる。
- 「クリーニングカセットでヘッドをクリーニングしてください」と画面に表示される。



ヘッドを良い状態で維持するには

- レンタルテープをお使いになったときは、ヘッドを10秒間クリーニングしてください。
- 約20時間使ったら、ヘッドを10秒間クリーニングしてください。

ちょっと一言

- 本機がヘッドの汚れを検知すると、「しばらくお待ちください」と画面に表示され、クリーニング動作をすることがあります。クリーニング中は、テープが走行したり、動作音がすることがあります。
- 画像が出るクリーニングカセットをお使いになると、10数秒で終了のメッセージが出ることがあります。連続1分間クリーニングするには、停止せずに、そのままクリーニングを続けてください。

ご注意

- クリーニングしても正常な画像に戻らないときは、繰り返しヘッドをクリーニングします。ただし、3回以上繰り返さないでください。それでも正常にならないときは、テープの録画状態がよくないか、ヘッドの摩耗が考えられます。別のテープを再生しても、正常な画像が出ないときは、ヘッド交換が必要なため、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- ソニー製湿式クリーニングカセット（T-25CLW）以外の湿式のクリーニングカセットは使わないでください。故障の原因になることがあります。
- ソニー製湿式クリーニングカセット（T-25CLW）は、定期的なクリーニングでのご使用をおすすめします。お使いになるときは、クリーニングカセットの取扱説明書をご覧ください。

ビデオテープについて

- 落としたり、強い振動、ショックを与えないでください。
- ムラなく巻き取り、ケースに入れて立てて保管してください。
- ご使用後のテープは、所定のケースに入れ、高温多湿、磁気、直射日光、熱器具の近く、チリ、ホコリの多い場所およびカビの発生しやすい場所をさけて保管してください。
- 磁気を持ったものを近づけないでください。大切な記録が損なわれることがあります。
- 冷えた場所から暖かい場所に移すと、テープに水滴がつくことがあります。カビが生えたり、ビデオヘッドを傷める原因になりますので、乾燥するまで使用しないでください。

結露（露つき）について

部屋の暖房を入れた直後など、本機内部のドラムやテープに水滴がつくことがあります。これを結露（露つき）といいます。そのままにしておくと、テープがドラムに貼りついて本機の故障やテープを傷める原因となります。

結露が起きやすいのは下記のような場合です

- 本機を設置した直後
- 暖房した直後
- エアコンの冷風が直接本機にあたっているとき
- 寒いところから暖かいところに移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多いとき
- 梅雨の時期

結露が起きそうなときは

ビデオ本体が部屋の温度になじむまで、電源を入れたまま2時間以上放置してください。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。
保証期間中の接続・操作・故障に関するお問い合わせは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

電源

電源が入らない。	→ 電源プラグをコンセントからはずす。約1分後、もう1度コンセントに電源プラグを差し込み、電源を入れる。

カセット

カセットが入らない。	→ 電源プラグをコンセントに差し込む。 → テープの見える面を上にして入れる。 → 他のカセットが入っている。カセット取出し⏏ボタンを押して取り出す。

画像

ビデオの画像が映らない。	→ テレビを「ビデオ」の入力に切り換える。または、テレビのチャンネルを1または2（放送のないほう）にし、テレビ/ビデオボタンを押して、ビデオ本体の「ビデオ」表示を点灯させる。 → メニューが出ている。メニュー/予約ボタンを押して消す。 → 予約画面が出ている。メニュー/予約ボタンを押す。 → テープに何も記録されていない。
再生した画像がチラつく、汚い。	→ トラッキングがずれている。トラッキング＋/－ボタンで調整する（☞51ページ）。 → ビデオヘッドが汚れている。別売りのソニーのクリーニングカセットでヘッドをクリーニングする（☞65ページ）。 → テープに傷がある。
ビデオで受信しているテレビ放送が映らない。	→ アンテナやテレビを正しくつなぐ（☞7ページ）。 → メニューの「マニュアル設定」で「チャンネルリスト」を選び、チャンネルを合わせる（☞19ページ）。 → 外部入力になっている（ビデオ本体の表示窓に「L1」が表示されている）。ビデオチャンネル＋/－ボタンを押して、テレビのチャンネルを表示させる。
ビデオで受信しているテレビ放送の画像が汚い。	→ 電波が弱い。別売りアンテナブースターで電波を増幅する。 → アンテナの向きを調節する。 → 画像を微調整する（☞31ページ）。 → 本機とテレビを離して設置する。 → 本機から離してアンテナ線をたばねる。
テレビのチャンネルを変えられない。	→ テレビを「テレビ」の入力に切り換える。または、本機のテレビ/ビデオボタンを押して、ビデオ本体の「ビデオ」表示を消す。 → アンテナ線を正しく接続する（☞8ページ）。接続が終わったら、かんたん設定をする（☞16ページ）。
本機の入力端子につないだ機器の画像が映らない。	→ ビデオチャンネル＋/－ボタンを押して、「L1」をビデオ本体の表示窓に出す。
本機につないだ他機で再生・受信している画像がゆがむ。	→ DVDプレーヤーやビデオデッキなどで再生しているソフトや、別売りのチューナーなどで受信している信号に、著作権保護のための信号が含まれている。プレーヤーやチューナーなどの機器を本機からはずして、テレビに直接つなぐ。
音声付早見再生中に画像が乱れる。	→ 早見再生中に、トラッキング＋/－ボタンで調整する（☞51ページ）。このとき、画像がチラつくことがある。
早送りや巻き戻しが停止■ボタンを押してもすぐに止まらない。	→ 本機がテープを保護し、ゆるやかに停止するため。

音声

再生時に音声が途切れる。
- → テープに傷がある。

2つの音が混ざって聞こえる。
- → 音声切換ボタンを押す。
- → メニューの「各種設定2」で「音声ミックス」を「切」にする(☞34ページ)。

ステレオ放送または二か国語放送を録画したテープの音声が切り換えられない。
- → モノラル音声が選ばれている。音声切換ボタンを押してステレオ音声を選ぶ。
- → モノラルで録画されたテープは、常にモノラル音声になる。
- → 主音声だけで録画されたテープは、常に主音声になる。
- → テレビとビデオをアンテナ線だけでつないでいる。映像・音声入力端子付きテレビのときは、映像・音声コードもつなぐ。
- → 電波が弱いためモノラルまたは主音声だけで録画されていた。アンテナの向きを調節するか、別売りのアンテナブースターで電波を増幅する。

録画・予約・編集

録画●ボタンを押すと、カセットが出てくる。
- → カセットが録画できない状態になっている。録画したいときは録画できる状態にする（☞64ページ）。

裏番組録画中、テレビでチャンネルを変えられない。
- → テレビを「テレビ」の入力に切り換える。または、本機のテレビ/ビデオボタンを押して、ビデオ本体の「ビデオ」表示を消す。

録画●ボタンを押しても、すぐに録画が始まらない。
- → 最適な録画状態になるように、本機が数秒間準備をするため。

予約したのに録画されていない。
- → 予約待機中に1時間以上の停電があり、時計が止まったため。時計を合わせ直す（☞27ページ）。
- → 予約したあとで、予約したチャンネルをとばしたため（☞22ページ）。
- → 電源プラグをコンセントからはずし、もう一度差し込む。

予約した内容が途中で切れている。
- → 予約録画中に停電が起きて電源が切れたため。1時間以内に停電が回復すれば時計は止まらず、回復時から終了時刻まで録画される。1時間以上の停電で時計が止まったときは、時計を合わせ直す（☞27ページ）。
- → 予約が重なっていた（☞43ページ）。
- → プロ野球中継など前の番組が延長されたため。

予約した内容が途中から始まっている。
- → 予約録画が始まる前に停電があり、回復時から録画が行われたため。

クイックタイマーが途中で終わっている。/途中が抜けている。
- → クイックタイマー録画中に停電が起きて電源が切れたため。停電すると時間だけが減り続ける。1時間以内に停電が回復すれば時間は止まらず、回復時から残り時間が録画される。1時間以上の停電で時計が止まったときは、時計を合わせ直す（☞27ページ）。

チューナーからの録画

シンクロ録画予約したのに録画されていない。
- → シンクロ録画予約待機中に停電があり、ビデオ本体の「シンクロ」表示が消灯したため。
- → チューナーの電源を切り忘れたため。チューナーの電源を切ってからシンクロ録画予約待機にする（☞59ページ）。

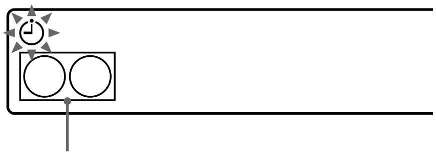
シンクロ録画予約した内容が途中で切れている。
- → 本機とつないだチューナーの予約が重なっている（☞60ページ）。
- → シンクロ録画中に停電が起きて電源が切れたため。

チューナーの電源を入れると、本機が自動的に録画を始めてしまう。
- → シンクロ録画機能が働いている。ビデオ本体のシンクロ録画ボタンを押して、「シンクロ」表示を消灯させる（☞60ページ）。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

表示

メニューや画面表示が画面に出ない。	→ テレビを「ビデオ」の入力に切り換える。または、テレビのチャンネルを1または2（放送のないほう）にし、テレビ/ビデオボタンを押して、ビデオ本体の「ビデオ」表示を点灯させる。
メニューが操作の途中で消える。	→ リモコンのボタンを押さずにしばらくたつと、メニューは自動的に消える。始めから操作し直す。
ビデオ本体の⏲表示が点滅する。	→ 「カセット」表示が点灯するときは、予約待機中で、テープが終わりまで進んでいるため。テープを巻き戻し、電源を切る。  カセット表示 → 「カセット」表示が出ないときは、予約待機中で、カセットが入っていない。カセットを入れ、電源を切る。
ビデオ本体のテープカウンターが動かない。	→ 録画されていない部分は動かない。
ビデオ本体に「－：－－」表示が点灯している。	→ 時計を合わせる（☞27ページ）。 → 1時間以上の停電で時計が止まっている。時計を合わせ直す（☞27ページ）。
ビデオ本体の⏲表示が、予約待機中または予約録画中なのに消えている。	→ 予約録画中にテープが終わりまで進んだため。続けて録画する場合は、録画するテープを入れ、電源を切る。
ビデオ本体の「シンクロ」表示が、シンクロ録画予約待機中またはシンクロ録画中なのに消えている。	→ シンクロ録画中にテープが終わりまで進んだため。続けて録画する場合は、録画するテープを入れ、シンクロ録画ボタンを押す。
「クリーニングカセットでヘッドをクリーニングしてください」という表示が消えない。	→ ビデオヘッドが汚れている。別売りのソニーのクリーニングカセットでヘッドをクリーニングする（☞65ページ）。 → テープが汚れている。別のテープを再生する。 → トラッキングが合っていない。カセットを入れ直し、トラッキングを自動調整に戻す。

リモコン

リモコンが働かない。	→ 乾電池が消耗している（☞5ページ）。 → 乾電池が入っていない（☞5ページ）。 → 乾電池を交換すると、リモコンのリモコンモードおよびテレビメーカー設定はお買い上げ時の設定に戻る。リモコンのリモコンモードおよびメーカーを合わせ直す（☞6、26ページ）。 → 本体の電源を入れる。 → リモコンを本体に向けて操作する（☞5ページ）。 → ビデオ本体とリモコンのリモコンモードが違っている。同じリモコンモードにする（☞6ページ）。 → 予約待機中は電源スイッチまたはシンクロ録画ボタン、CSダイレクトボタン以外は働かない。 → ビデオ本体の「シンクロ」表示が点灯しているときは、シンクロ録画機能が働いている（本体のボタンも働かない）。ビデオ本体のシンクロ録画ボタンを押して、「シンクロ」表示を消灯させる（☞60ページ）。
本機のリモコンで操作したら、本機と他のソニーのビデオが同時に動いてしまった。	→ 本機と他機のリモコンモードが同じになっている。本機のリモコンモードを変える（☞6ページ）。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではビデオデッキの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
●型名：SLV-R155
●故障の状態：できるだけ詳しく
●購入年月日：

テクニカルインフォメーションセンターのご案内

お買い上げいただいたビデオカセットレコーダーは、お買い上げ日より1年間、テクニカルインフォメーションセンターでも保証サービスを行っております。
製品の品質には万全を期しておりますが、万一、故障などの不具合が生じた場合や、接続や操作の方法がわからない場合は、まず、裏表紙のフリーダイヤルにお問い合わせください。
また、製品に対するご意見なども、お気軽にお寄せください。よりよい製品作りに生かしていきたいと考えております。

あらかじめ以下のことをお調べいただくと、対応が円滑に進むこともあります。
お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

●型名：SLV-R155
●ビデオテープの種類：長さ（30、60、90、120、180など）
●接続しているアンテナ：VHF/UHF、VHF/UHF/BS混合、CATV
●つないでいるテレビのメーカーと型名

今後とも、ソニー製品をご愛用くださいますようお願い申し上げます。

主な仕様

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャンFM方式
ハイファイ録音方式	回転2ヘッドハイファイステレオ方式（VHS従来音声トラックはモノラル録音）
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
テープ速度	33.4mm/秒（標準）、 11.1mm/秒（3倍）
使用可能テープ	VHS方式のビデオカセットテープ
最大録画時間	標準： 3時間30分（T-210使用時） 3倍： 10時間30分（T-210使用時）
早送り・巻き戻し時間	1分以内（T-120使用時）
受信チャンネル	VHF：1〜12チャンネル UHF：13〜62チャンネル CATV：C13〜C63チャンネル

入・出力端子

アンテナ入出力	VHF/UHF1軸、 75Ω F型コネクター
映像入力	入力1の1系統、 ピンジャック、 1Vp-p（75Ω不平衡）
映像出力	出力の1系統、 ピンジャック、 1Vp-p（75Ω不平衡）
音声入力	入力1の1系統、 ピンジャック（左、右） 入力レベル：327mVrms （入力インピーダンス：47kΩ以上）
音声出力	出力の1系統、 ピンジャック（左、右） 出力レベル：327mVrms （出力インピーダンス：10kΩ以下）

電源部・その他

電源部	AC100V、50/60Hz
消費電力	15W
待機時消費電力	1.1W* 1.3W（時刻表示点灯時） 0.4W（時刻表示消灯時） * 省エネ法に定める計算式による待機時消費電力値を示す。
時計方式	クォーツクロック、 12時間デジタル表示
停電補償時間	1回　約1時間以内
許容動作温度	5℃〜 40℃
許容保存温度	−20℃ 〜 60℃
最大外形寸法	幅 430×高さ 97×奥行き 292mm （最大突起含む）
本体質量	約 4.2kg
付属リモコン	RMT-V305 電源：DC 3V 単3形（R6）乾電池2個付属
付属品	5ページ参照

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

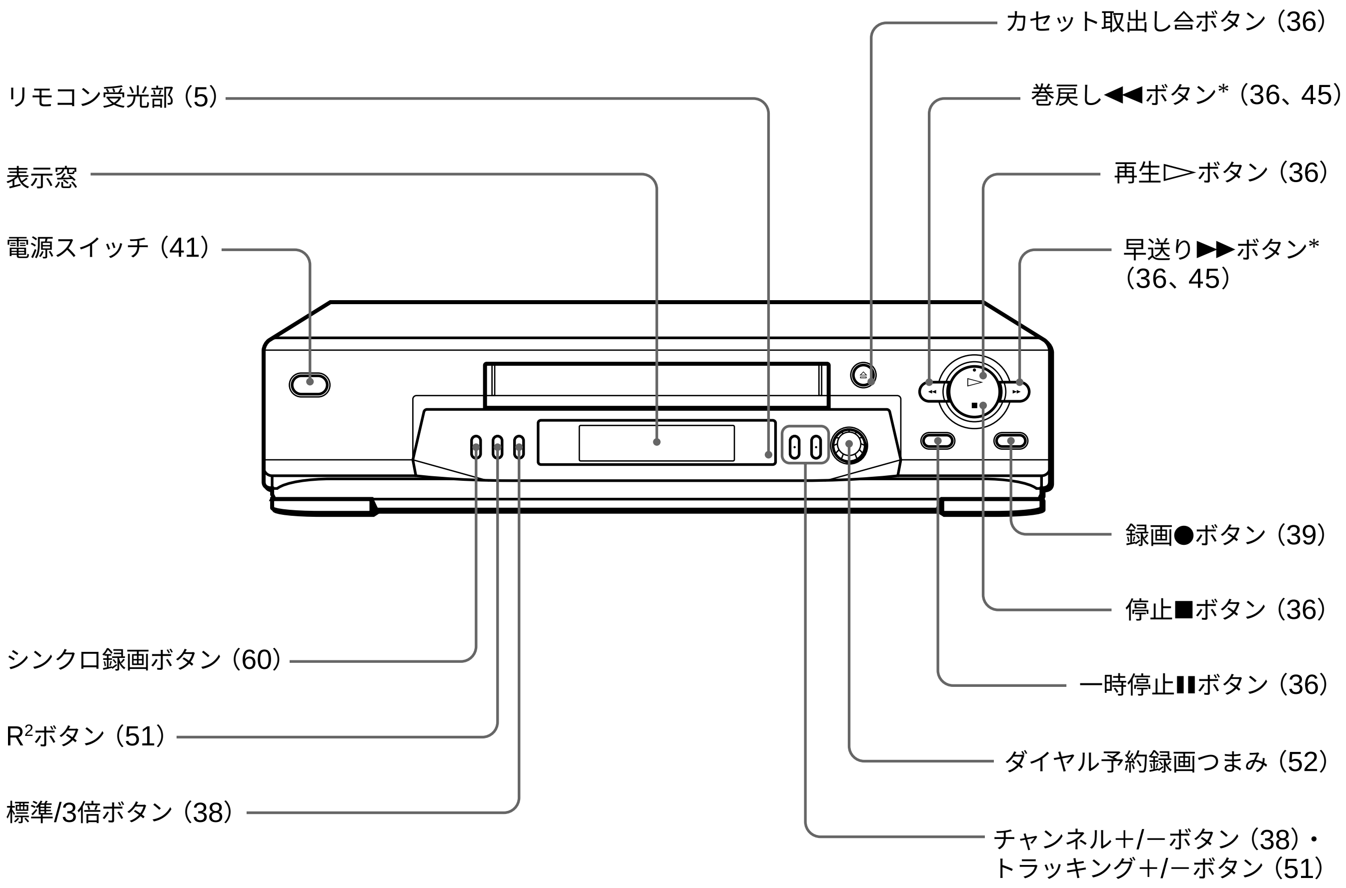
各部のなまえ

各部の説明は（　）内のページをご覧ください。

本体

本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。ただし、* のボタンはリモコンの働きのすべてには対応していません。詳しくは各参照ページをご覧ください。

前面

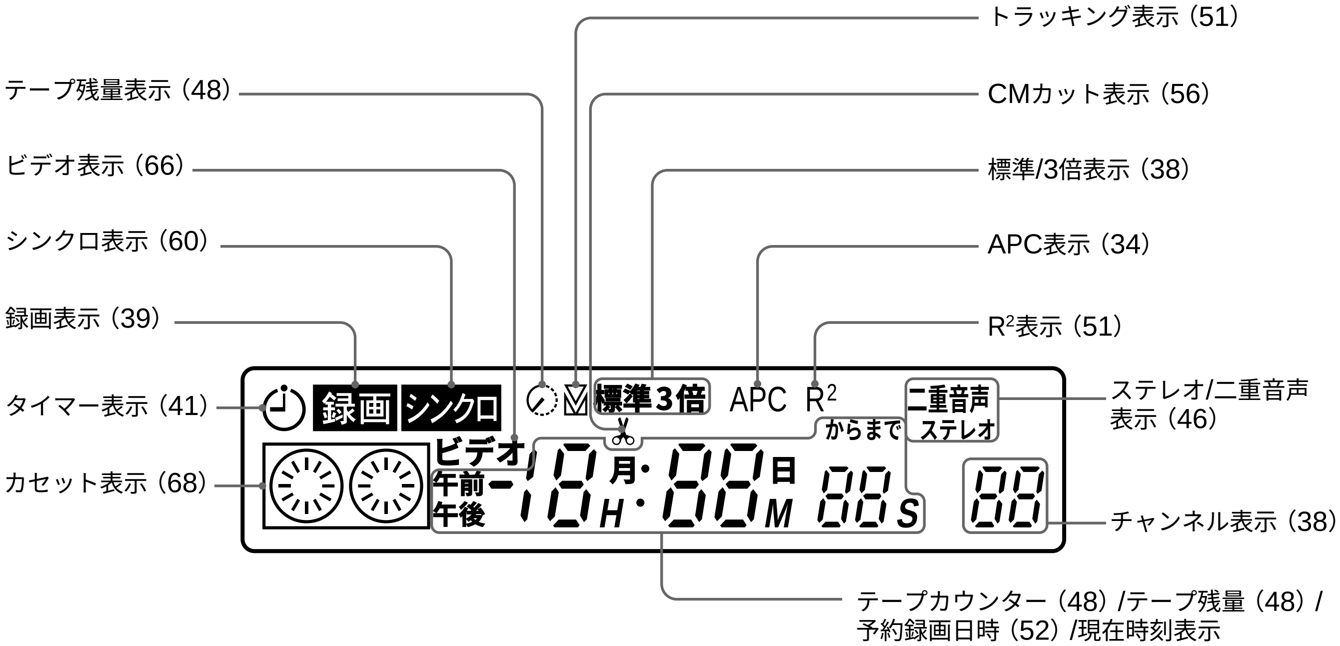


その他

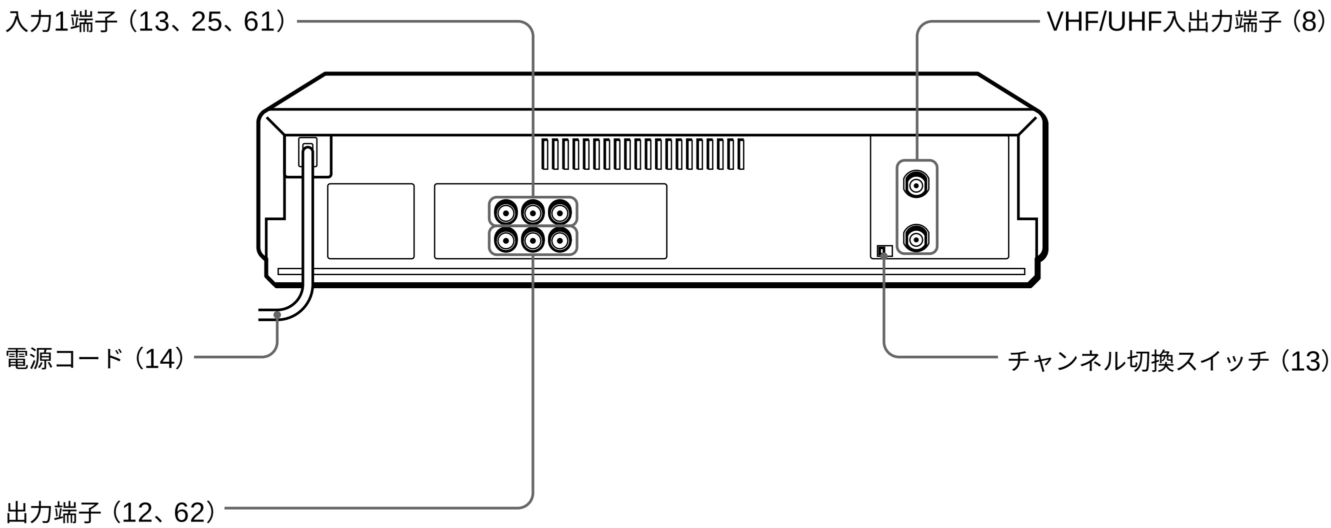
次のページにつづく

各部のなまえ（つづき）

本体表示窓

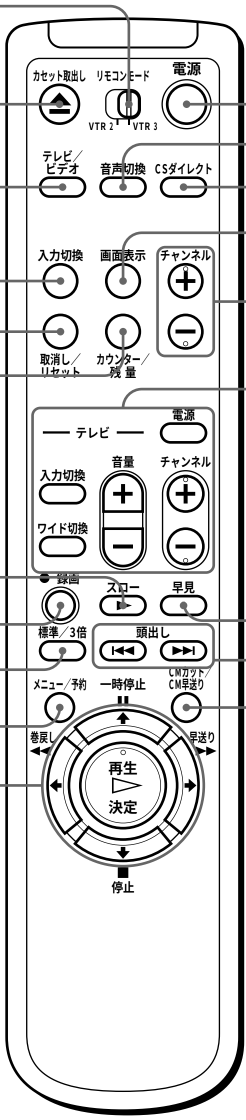


後面



リモコン

リモコンのボタンは本体の同じ名前のボタンと同じ働きをします。ただし、* のボタンは本体にない機能があります。詳しくは各参照ページをご覧ください。



リモコンモードスイッチ（6）

カセット取出し⏏ボタン（36）

テレビ/ビデオボタン（66）

入力切換ボタン（38）

取消し/リセットボタン（43、47）

カウンター/残量ボタン（48）

スロー▮►ボタン（45）

録画●ボタン（39）

標準/3倍ボタン（38）

メニュー/予約ボタン（16、42）

一時停止❚❚/🡅ボタン（36）
停止■/🡇ボタン（36）
巻戻し◀◀/🡄ボタン*（36、45）
早送り▶▶/🡆ボタン*（36、45）
再生▷/決定ボタン（36）

電源スイッチ（41）

音声切換ボタン（46）

CSダイレクトボタン（58）

画面表示ボタン（47）

（ビデオ）チャンネル＋/－ボタン（38）

テレビ用ボタン
- 入力切換ボタン
- 電源スイッチ
- ワイド切換ボタン
  （ワイドTVのみ）
- 音量＋/－ボタン
- チャンネル＋/－ボタン

早見ボタン（45）

頭出し⏮/⏭ボタン（49）

CMカット/CM早送りボタン（44、56）

その他

用語解説

五十音順

カ行

結露（露つき）

暖房を入れて室温が急に上がったときなどに、本機のドラムやテープに水滴が付くことです。テープがドラムに貼り付いて故障の原因になります。

サ行

受信チャンネル

ビデオが放送局を受信したときのチャンネルです。通常は新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されている各放送局の番号と同じです。本機では、チャンネルの設定を自動で行ったときに設定されます。

タ行

デジタルCS放送

通信衛星を使ったCS放送の一種です。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することにより、大量の情報を扱うことができます。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音声で楽しむことができます。デジタルCS放送を受信するには、専用のチューナーとアンテナが必要です。
CSはCommunication Satellite（コミュニケーション・サテライト）の略です。

トラッキング

テープに記録された信号をなぞって読みとるようにすることです。ずれると再生時に画像がチラついたり、雑音が入ったりします。

ナ行

ノーマル音声

ハイファイでないVHSビデオで録画・再生するときやアフレコ機能のあるVHSビデオでアフレコするときに使われるモノラル音声です。

ハ行

ハイファイ音声

ハイファイビデオ（本機など）で再生したときに聞こえる高品質なステレオ音声です。

表示チャンネル

ビデオで放送局を選ぶとき表示されるチャンネルです。通常は受信チャンネルと同じですが、変更することができます。

ヘッド

テープに信号を記録したり、テープから信号を読みとる部分です。美しい画像を楽しむために定期的にクリーニングしてください。

ヤ行

予約待機

予約をすると、ビデオ本体の⏲表示が点灯して電源が切れます。これが予約待機（予約録画待ち）の状態です。予約した時間になると自動的に録画が行われます。録画開始時刻に電源が入っていると、録画が行われません。

ラ行

リモコンモードボタン

2台以上のソニーのビデオデッキを使うとき、操作したいデッキだけが反応するようにリモコンの信号を切り換えるボタンです。ビデオ本体とリモコンのリモコンモードが合っていないと、リモコンでは操作できません。

アルファベット順

APC

他機で録画したVHSテープの再生・録画やレンタルビデオの再生を、テープやヘッドの状態を自動的に判断して、最適な画質にします。
APCはAdaptive Picture Control（アダプティブ・ピクチャー・コントロール）の略です。

BSデジタル放送

放送衛星BS-4後発機を利用したデジタル衛星放送（BS）です。従来のテレビ放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と違い、映像や音声をデジタル化して大容量の情報を扱えるため、高画質な映像や多チャンネルの番組を楽しめます。幅広いジャンルの番組内容で、デジタルハイビジョン放送を中心に、ラジオ放送、データ放送（双方向サービス）が楽しめます。

CATV

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送のことです。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。
CATVはCable Television（ケーブル・テレビジョン）の略です。

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

アルファベット順

http://www.sony.co.jp/

保証期間中の接続・操作・故障に関するお問い合わせは
テクニカルインフォメーションセンターへ

フリーダイヤル　**0120-88-9374**
受け付け時間　**午前9時～午後5時**（年末、年始、祝日を除く毎日）

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル……………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311
● Fax ……………………………… 0466-31-2595
受付時間：
月～金
9:00～20:00
土・日・祝日
9:00～17:00

Printed in Malaysia